

令和 4年度杉並区事務事業評価表 (1)

(00176)

事務事業名称	障害者の社会参加支援				款 04 項 01 目 03 事業 004	整理番号	176	
現担当課名	障害者施策課	係名	管理係		連絡先電話番号	1139	昨年度整理番号	182
上位施策No・施策名	16 障害者の社会参加と就労機会の充実				予算事業区分	既定事業		
事業開始	平成18年度	実行計画事業	目標 04	施策 16	計画事業 03	主要事業 (区政経営報告書掲載事業)		
令和 3年度担当課名	障害者施策課				事業評価区分	一般		

令和 3年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	身体障害者、知的障害者、精神障害者 など	根拠法令等 (1) (2)	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第77条
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	障害者が住み慣れた地域で、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるようにする。	活動指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明	移動支援事業利用者数 移動支援事業年間実利用者数 移動支援事業延利用時間数 移動支援事業年間延利用時間数
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	屋外での移動困難な障害者の社会参加を促すためガイドヘルパーを派遣する。 社会参加促進事業 (各種講習会、自動車改造費助成等)、意思疎通支援 (手話通訳者・要約筆記者派遣等)、地域活動支援センター等の利用は、対象者の申請に基づき、各事業の資格要件を判断した上でサービスを給付または助成する。	成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明	移動支援事業利用率 移動支援事業年間利用率 手話通訳者・要約筆記者派遣回数 手話通訳・要約筆記者を派遣した回数

指標、総事業費・コスト把握 (P l a n ・ D o)

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 (1)	1 人	922	1,230	813	1,300	811	1,202	62.4	91.9	
活動指標 (2)	2 時間	152,957	163,716	123,817	163,716	140,828	177,300	86.0		
成果指標 (1)	3 %	80.2	0.0	70.1	0.0	70.2	82.0	0.0		
成果指標 (2)	4 回	1,288	1,300	1,006	1,300	1,073	1,300	82.5		
事業費	5 千円	518,054	466,036	434,711	566,700	520,705	611,992	特記事項		
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	令和3年度事業費は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による利用実績の減少もあり、執行残が発生しました。 一方で、自粛要請の緩和やワクチン接種による感染率減少等の影響により、年間延利用時間は前年度比13%増加、令和3年度より報酬単価を含む事業の見直しも行ったこともあり、事業費は前年度比20%増加しました。 成果指標 (1) は、今回新たに設定したため令和2・3年度の計画 (目標値) は0としています。		
(内) 委託費	7 千円	492,850	440,404	411,189	540,968	497,185	586,189			
職員数	8 人	4.98	4.79	6.19	5.61	5.51	4.52			
上記以外の職員	9 人	3.00	3.00	2.00	3.15	3.20	3.65			
人件費	10 千円	43,416	41,759	51,519	46,587	45,970	37,710			
上記以外の職員	11 千円	9,240	9,240	7,256	11,428	11,760	13,414			
総事業費 (5+10+11)	12 千円	570,710	517,035	493,486	624,715	578,435	663,116			
単位当たりコスト ((12-6) ÷ 1)	13 円	618,991	420,354	606,994	480,550	713,237	551,677			
財源	受益者負担分	14 千円	1,733	2,499	1,600	2,578	1,846			2,802
	国からの補助金等	15 千円	143,775	155,781	149,008	156,466	145,688			175,650
	都からの補助金等	16 千円	81,789	77,891	82,746	88,974	83,278			99,500
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0			0
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	227,297	236,171	233,354	248,018	230,812			277,952
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	343,413	280,864	260,132	376,697	347,623	385,164			
受益者負担比率 (14 ÷ 12)	20 %	0.3	0.5	0.3	0.4	0.3	0.4			

令和 4年度杉並区事務事業評価表 (2)

令和 3年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 176

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	移動支援事業委託	140,828	時間	476,361
	手話通訳者・要約筆記者派遣	1,073	回	11,007
	地域活動支援センター事業 (運営：直営1所、補助事業所1所) の実施	2	所	22,607
	その他 (自動車改造費支援、社会活動支援、代読・代筆サービスほか)			10,730
事業実績	<p>移動支援事業は事業の見直しを行い、令和3年度から対象者の拡大や支援内容を充実しました。利用者数は811人で令和2年度と比較して横ばいでしたが、年間延利用時間は140,828時間と前年度比17,011時間の増加となりました。</p> <p>手話通訳者等の派遣回数は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い説明会の縮小などの影響がありました。1,073回の派遣を行いました。</p>			

令和 3年度 評価と課題 (C h e c k)

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 (期待・要望・苦情など)	<p>平成18年10月の障害者自立支援法の施行に伴い、障害者関連の事業が再編され、新たな事業として移動支援事業を開始しました。平成25年4月には障害者総合支援法が施行され、身体・知的・精神の3障害に難病等が追加されました。令和2年度には利用者、事業者等からの要望を踏まえ、対象者の拡大や運用方法の見直しを行いました。</p> <p>手話通訳者・要約筆記者派遣事業では、手話通訳者等から派遣費増額や感染症対策のため消耗品補助の要望があります。また、利用者からは感染症防止に対応した遠隔手話等の派遣希望が寄せられています。</p>
事業の今後 (3～5年) の予測と方向性	<p>移動支援事業については、令和2年度に事業を見直したことにより、当面の間は新規利用者が増える予測をしています。新しい生活様式に合わせた支援を行うことができるよう、さらなる事業の充実を図っていきます。</p> <p>手話通訳者・要約筆記者派遣事業は感染状況が改善に向かえば、講習会や催し物への参加が増えると思われるため、派遣回数はさらに増加すると見込んでいます。回数の増加に対応できるよう手話通訳者等の確保を図っていきます。</p>
計画 (目標値) に対する実績 (指標の分析等)	<p>移動支援事業について、令和3年度の利用者数は811人で目標値の62%、年間延利用時間140,828時間で目標値の86%となりました。しかしながら、事業の見直しを行ったことにより、年間延利用時間は令和2年度比113%となっており、令和元年度の水準までは戻っていないものの増加傾向にあります。</p> <p>手話通訳者手話通訳者等の派遣件数の実績については、感染者数が高い水準で推移しており回数は67回の増加にとどまっています。</p>
評価と課題	<p>障害者の社会参加を促進する基盤となる移動支援事業は、事業の見直しを図ったことにより、利用者が増加していくと見込んでいます。今後は、身近な場所で余暇活動を楽しめる場の拡充や事業の担い手であるガイドヘルパーの育成の強化に取り組んでいきます。</p> <p>手話通訳者・要約筆記者派遣事業では、感染防止対策として遠隔手話通訳を導入するなど社会状況に合わせた支援を行いました。今後も時代とともに変化するニーズを的確に捉え、そのニーズに応えられるよう柔軟に対応していきます。</p>

令和 5年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>移動支援事業は、令和3年度から対象者の拡大、運用方法・契約単価の見直しを行ったため、当面は事業コストが拡充することが予想されます。令和3年度の見直し後の実績を注視するとともに、障害者の集える場の充実に向けて取り組んでいきます。</p> <p>意思疎通支援事業は、利用者を取り巻く支援の変化を踏まえ、多様なニーズに対応できるよう適宜事業内容の検討と見直しを図ります。</p> <p>その他コロナの終息や高齢化による利用者の増加が見込まれます。</p>	

令和 4年度杉並区事務事業評価表 (1)

(00178)

事務事業名称	障害者福祉の啓発			款	04	項	01	目	03	事業	007	整理番号	179
現担当課名	障害者施策課		係名	管理係		連絡先電話番号	1143		昨年度整理番号	185			
上位施策No・施策名	16 障害者の社会参加と就労機会の充実							予算事業区分	既定事業				
事業開始	昭和51年度												
令和 3年度担当課名	障害者施策課							事業評価区分	一般				

令和 3年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	区内在住で障害者手帳を取得している障害者、支援者及び関係機関。障害者福祉推進連絡協議会委員。	根拠法令等 (1) (2)	障害者基本法第5、7、23条 杉並区障害者福祉推進連絡協議会設置要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	障害のある人もない人も共に参加するイベントなどを通じて、全ての人がそれぞれの人格と個性を尊重し、支え合う共生社会の実現を目指す。 障害者の生活に役立つ情報を正確かつ迅速に提供し、必要な情報を誰でも容易に得ることを可能にする。	活動指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)	「ふれあいフェスタ」参加団体・作業所数 「ふれあい美術展」出展数
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	障害者福祉及び関連施策の推進を図るため、杉並区障害者福祉推進連絡協議会を開催する。 障害者の生活支援サイト「のーまらいふ杉並」を運営する。 「障害者のてびき」を3年ごとに発行する。 「ふれあいフェスタ」などの各種催しを障害者週間事業として実施する。 障害者基礎調査を3年ごとに実施する。 全国在宅障害児・者実態調査を5年毎に実施する。 (都からの委託業務)	指標説明 成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明	障害者生活支援サイト「のーまらいふ杉並」年間アクセス数 障害者福祉推進連絡協議会開催回数

指標、総事業費・コスト把握 (P l a n ・ D o)

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 組	43	50	29	50	29	50	58.0	44.8
活動指標 (2)	2 点	320	300	70	300	130	300	43.3	
成果指標 (1)	3 件	218,791	220,000	228,670	230,000	219,382	230,000	95.4	
成果指標 (2)	4 回	1	2	1	2	2	2	100.0	
事業費	5 千円	15,726	4,123	2,538	2,894	1,296	21,101	特記事項	
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	全国在宅障害児・者実態調査 (予算1,017千円) について、令和4年度への延期により、令和3年度は未実施となった。 令和2年度は障害者福祉計画等の策定に伴う計画冊子の印刷等経費があったため、3年度は事業費が減になりました。	
(内) 委託費	7 千円	6,289	1,242	216	247	224	10,875		
職員数	8 人	2.50	1.70	2.50	2.50	2.50	2.50		
上記以外の職員	9 人	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40		
人件費	10 千円	21,795	14,821	21,258	21,258	20,858	20,858		
上記以外の職員	11 千円	1,232	1,232	1,451	1,451	1,470	1,470		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	38,753	20,176	25,247	25,603	23,624	43,429		
単位当たりコスト ((12-6) ÷ 1)	13 円	901,233	403,520	870,586	512,060	814,621	868,580		
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	124	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	124	0	0	0	0		
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	38,629	20,176	25,247	25,603	23,624	43,429		
受益者負担比率 (14 ÷ 12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

令和 4年度杉並区事務事業評価表（2）

令和 3年度 事業実施状況（D o）

整理番号 179

	内 容	規模	単位	事業費（千円）
主な取組	障害者週間事業の開催			855
	障害者福祉推進連絡協議会の開催			155
	その他（管理事務費・郵送費ほか）			286
事業実績	<p>障害者福祉関連情報に特化したサイト「のーまらいふ杉並」については、障害者が利用しやすいサイト構成、必要な情報をタイムリーに提供できるよう努めました。また、令和3年12月には、区と障害者団体連合会が共催して障害者週間事業を実施し、感染症対策を講じながら、ふれあいフェスタ、ふれあい美術展、団体・施設の活動パネル展などを開催しました。</p>			

令和 3年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	<p>平成15年度より、障害者自立生活者等表彰の対象に精神障害者を加え、三障害すべてを対象としました。杉並区障害者週間事業と一体で開催していた社会福祉協議会が主催する「うえるフェスタ」が平成21年度で終了となりました。</p> <p>平成25年4月に「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」が施行され、平成28年4月には「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」が施行されました。</p> <p>障害者への情報について、情報保障の視点から、障害特性に応じた配慮をしてほしいとの声があります。</p>
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	<p>障害者関連の情報に特化した障害者支援サイト「のーまらいふ杉並」や、情報誌である「障害者のてびき」の発行にあたっては、障害特性に合わせた情報提供に努めていきます。</p> <p>地域の人々への障害理解に向けた取組を進めていますが、障害者の生活に関わる様々な場面で、障害を理由とした差別的対応などはなくならない状況です。今後も、サイトやイベントなど様々な方法で、より多くの区民・事業者等に障害特性の理解や合理的配慮の提供の促進に向けた働きかけを積極的に行っていきます。</p>
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	<p>令和3年度は、前年度に新型コロナウイルス感染症の影響により開催できなかった「ふれあいフェスタ」を感染対策を講じながら規模を縮小して開催しました。</p> <p>「のーまらいふ杉並」については、障害者が利用しやすいサイト構成、必要な情報をタイムリーに提供できるよう努めており、アクセス数は令和元年度以降ほぼ横ばいとなっています。</p> <p>障害者福祉推進連絡協議会は、5月と3月に開催し、地域生活支援拠点等の設置や福祉人材の確保等について広く意見を聴取しました。</p>
評価と課題	<p>障害者生活支援サイト「のーまらいふ杉並」は、障害者へ最新の情報を提供する有効なツールです。サイト内容の充実やウェブアクセシビリティにも配慮しながら、障害福祉関連の情報を集約し、よりわかりやすく発信していきます。</p> <p>また、「ふれあいフェスタ」を始めとした障害者週間事業については、令和元年度から小中学校の児童生徒がいる全世帯にチラシを配布するなど、より多くの区民の意識啓発につながるよう、周知に努めるとともに、イベント内容を工夫していきます。</p>

令和 5年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>障害者週間事業については、障害のある方とない方の交流を契機に、障害理解を更に深めるためのイベントです。感染対策を講じながら、より多くの区民が参加できるよう、実施方法や周知を工夫して取り組んでいきます。</p>	

令和 4年度杉並区事務事業評価表 (1)

(00179)

事務事業名称	障害者団体への助成			款	04	項	01	目	03	事業	008	整理番号	180
現担当課名	障害者施策課		係名	管理係		連絡先電話番号	1144		昨年度整理番号	186			
上位施策No・施策名	16 障害者の社会参加と就労機会の充実							予算事業区分	既定事業				
事業開始	昭和39年度												
令和 3年度担当課名	障害者施策課							事業評価区分	一般				

令和 3年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	区内の障害者、一般区民、心身障害者団体	根拠法令等	(1) 障害者基本法第3条、第4条 (2) 杉並区心身障害者団体助成要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	障害者の団体活動を支援することにより、障害者の自立や社会参加の機会を拡大する。	活動指標	団体の事業開催回数
		指標名 (1)	
		指標説明	
		指標名 (2)	団体事業活動の参加者数
		指標説明	
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	心身障害者団体の運営や活動に係る経費の一部を助成する。 心身障害者の生涯学習事業に係る経費の一部を助成する。 障害者と健常者の相互理解を促進する「ふれあい運動会」を実施する。	成果指標	活動参加者数対前年度比
		指標名 (1)	
		指標説明	
		指標名 (2)	
		指標説明	

指標、総事業費・コスト把握 (P l a n ・ D o)

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 回	136	128	19	92	45	90	48.9	53.9
活動指標 (2)	2 人	2,499	2,591	1,595	2,395	1,547	2,347	64.6	
成果指標 (1)	3 %	96.8	99.2	63.8	92.4	96.9	97.9	104.9	
成果指標 (2)	4								
事業費	5 千円	10,407	11,203	4,177	11,203	6,038	11,428	特記事項	
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	令和3年度においては、コロナ禍前の活動を踏まえた計画とし、団体ごとに工夫を凝らしながら事業を実施したことから、令和2年度より、事業費は増加しました。しかしながら、感染拡大の終息が見込めない中、一部の事業については、中止や変更を余儀なくされたため、執行残が発生しました。	
(内) 委託費	7 千円	5	9	7	9	7	9		
職員数	8 人	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00		
上記以外の職員	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
人件費	10 千円	8,718	8,718	8,503	8,503	8,343	8,343		
上記以外の職員	11 千円	0	0	0	0	0	0		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	19,125	19,921	12,680	19,706	14,381	19,771		
単位当たりコスト ((12-6)÷1)	13 円	140,625	155,633	667,368	214,196	319,578	219,678		
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	0	0	0	0	0	0	
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	19,125	19,921	12,680	19,706	14,381	19,771		
受益者負担比率 (14÷12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

令和 4年度杉並区事務事業評価表（2）

令和 3年度 事業実施状況（D o）

整理番号 180

	内 容	規模	単位	事業費（千円）
主な取組	心身障害者団体への運営経費の助成	15	団体	6,026
	その他（消耗品の購入、郵券購入ほか）			12
事業実績	心身障害者団体への運営経費等の一部を助成することにより、障害者の方々の社会参加機会の提供につなげています。新型コロナウイルス感染症の影響により、宿泊訓練や研究活動などの団体の活動が制限されるとともに、コロナ禍を踏まえ、ふれあい運動会を中止しました。			

令和 3年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	心身障害者団体は、当初10団体から始まり、現在は15団体に対して運営活動経費の一部を助成しています。 ふれあい運動会は東京オリンピックが開催された昭和39年度に開始し、平成4年からは一般区民を含めた実行委員会形式により実施しています。 障害者の自立や社会参加の機会を促進するため、団体助成を維持してほしいという声が多く、社会情勢や各団体の実態に即した支援が求められています。
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	各団体の新規加入者は多いとは言えず、また現会員の高齢化も相まって、会員数や実活動人数の減少が顕著となっています。個々の団体に対し適切に支援をしていくことに加え、障害者団体連合会やその他の関係機関と連携しながら、団体活動の周知や障害のある人となない人との交流の場を広げていくなど、団体活動を支援していきます。
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	宿泊訓練、レクリエーション、研究会活動などの各団体ごとの団体活動は、障害者の自立や社会参加の機会の一助となっていますが、令和2年度に引き続き、令和3年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、活動事業開催回数、参加者数とも計画より減少しています。なお、ふれあい運動会もコロナ禍を踏まえ中止としました。
評価と課題	団体助成については、団体活動の一助として、その時々々の社会情勢や団体の実情に見合った適切な支援ができるよう、適宜、運営事務経費等助成金分配基準等の見直しを図っていく必要があります。また、多くの団体では会員の高齢化等により会員数の減少がみられます。障害者の自立や社会参加の機会を広げるため、団体の活動が活性化するように働きかけていきます。 ふれあい運動会は、令和2年度・令和3年度は中止しましたが、障害のある人となない人が交流し、障害者の積極的な社会参加の推進や相互理解に寄与することから、実行委員会を中心に感染症対策を講じながら、コロナ禍においても開催できるよう取り組んでいきます。

令和 5年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
予算の方向性の理由・内容	障害者団体支援は、障害者の社会参加の促進だけでなく、区にとって、障害者のニーズを把握できる貴重な情報源となっており、今後も実態に即した支援を継続していきます。 ここ数年は、新型コロナウイルス感染症の影響で団体活動が制限されていますが、そのような中でも、オンラインを活用した事業や情報発信に取り組む団体もあります。今後は、感染症の影響によりこれまでと同じような活動はできないことが想定されることから、コロナを教訓とした支援制度に改善していきます。	

令和 4年度杉並区事務事業評価表 (1)

(00181)

事務事業名称	障害者通所施設支援事業			款	04	項	01	目	03	事業	010	整理番号	181
現担当課名	障害者生活支援課		係名	管理係			連絡先電話番号	2273		昨年度整理番号	187		
上位施策No・施策名	16 障害者の社会参加と就労機会の充実							予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成19年度												
令和 3年度担当課名	障害者生活支援課							事業評価区分	一般				

令和 3年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	障害者総合支援法に規定する障害福祉サービス事業所を運営する法人及びその施設に通所する個人	根拠法令等 (1) (2)	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律 杉並区障害者通所施設サービス推進事業補助金交付要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	障害者総合支援法に基づき生活介護、自立訓練、就労移行支援又は就労継続支援のサービス事業所を運営する法人に対し、必要な経費を助成することにより、施設の安定した経営と通所者の負担軽減を図る。	活動指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)	送迎サービス対象施設数 障害福祉サービス事業所施設数
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	サービス推進事業補助金の算定基準に基づき、事業所の運営に必要な経費を助成する。送迎サービスを実施する民営施設に対して、その費用の全部又は一部を補助する。小規模作業所又は精神障害者共同作業所から移行した事業所に対して、施設の借り上げ費を補助する。通所者に対して交通費等の負担軽減を行っている法人に、その費用を補助する。	指標説明 成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明	送迎サービス利用施設通所者数 障害福祉サービス事業所通所者数

指標、総事業費・コスト把握 (P l a n ・ D o)

区分	単位	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 (1)	1 所	7	8	7	8	7	7	87.5	91.0	
活動指標 (2)	2 所	32	34	34	34	34	34	100.0		
成果指標 (1)	3 人	79	81	64	126	77	113	61.1		
成果指標 (2)	4 人	1,287	1,166	1,317	1,165	1,331	1,161	114.2		
事業費	5 千円	430,742	476,538	438,485	488,796	444,982	487,500	特記事項		
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0			
(内) 委託費	7 千円	19	23	23	23	23	27			
職員数	常勤職員数 (再任用含)	8 人	0.52	0.53	0.42	0.52	0.54	0.74		
	上記以外の職員	9 人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	10 千円	4,533	4,157	3,176	4,026	4,133	6,174		
	上記以外の職員	11 千円	616	616	726	726	735	735		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	435,891	481,311	442,387	493,548	449,850	494,409			
単位当たりコスト ((12-6)÷1)	13 円	62,270,143	60,163,875	63,198,143	61,693,500	64,264,286	70,629,857			
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	264,096	296,725	282,941	309,406	280,964	306,590		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	264,096	296,725	282,941	309,406	280,964	306,590		
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	171,795	184,586	159,446	184,142	168,886	187,819			
受益者負担比率 (14÷12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

令和 4年度杉並区事務事業評価表（2）

令和 3年度 事業実施状況（D o）

整理番号 181

	内 容	規模	単位	事業費（千円）
主な取組	通所サービス利用促進事業（送迎サービス支援）の実施	7	所	7,520
	日中活動系サービス推進事業の実施	34	所	279,090
	訓練等給付交通費等助成	35	所	42,323
	訓練等給付施設借上費助成ほか	18	所	116,002
	その他（事務費、郵送料）			47
事業実績	<p>施設に対して運営費等の助成を行うことで円滑な運営が行われています。令和3年度は、事業所の新規開設はなく、助成対象施設数に増減はありませんでした。また、送迎サービス支援についても対象施設数の増減はありませんでした。</p>			

令和 3年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	<p>この事業は、事業者の家賃補助等を行う「訓練等給付施設整備費助成」、通所者の交通費や給食費を助成する「訓練等給付交通費及び給食費助成」、通所者の送迎支援に補助を行う「送迎支援事業」、運営経費を補助する「障害者日中活動系サービス推進事業」から成っています。</p> <p>平成23年度末、障害者総合支援法に基づく新体系への移行が完了し、現在は移行した施設に運営費等の助成を行い円滑な運営が行われています。</p> <p>今後も通所に係る交通費及び給食費の補助を継続し、通所者の負担軽減を図ってほしいとの声があります。</p>
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	<p>各事業所が補助金に頼らない自立した運営を行うことが期待されますが、新型コロナウイルスや物価の上昇などで事業者の経営がひっ迫することが懸念されます。また、通所者の高齢化・重度化に伴い、通所者の送迎サービスの需要が高まっています。</p>
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	<p>送迎サービス利用施設通所者数については、東京都の補助基準内であったため、区の補助金の対象外となった施設があったことや新型コロナウイルス感染症拡大による「緊急事態宣言」の影響もあり減少しました。障害福祉サービス事業所通所者数については、令和2年度に新規開設が2所あったこともあり、通所者数は増加しました。</p>
評価と課題	<p>新型コロナウイルス感染症の影響があったものの、各事業所の運営は安定しています。</p> <p>しかし、施設利用者の高齢化・重度化に伴い、自主通所が困難な利用者の増加に伴い、送迎サービスの需用が高まっています。そうした中、小規模な施設は、送迎サービスの対応が困難なことから他の福祉サービスの見直しを踏まえて対応を図っていきます。</p>

令和 5年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
予算の方向性の理由・内容	<p>本事業は、各施設の安定した自立運営を支援するため、運営費等の補助を行っています。近年、通所施設は、毎年のように新規開設があり、そのため今後も運営費等が増加します。</p> <p>また、補助金の対象施設の増加に伴い、執行事務処理も増加・複雑となるため、より正確で効率的な支給事務に努めます。</p>	

令和 4年度杉並区事務事業評価表 (1)

(00182)

事務事業名称	公益財団法人 杉並区障害者雇用支援事業団				款 04	項 01	目 03	事業 011	整理番号	182
現担当課名	障害者生活支援課		係名	管理係	連絡先 電話番号			2275	昨年度 整理番号	188
上位施策No・施策名	16 障害者の社会参加と就労機会の充実						予算事業区分	既定事業		
事業開始	平成10年度	実行計画事業	目標 04	施策 16	計画事業	02				
令和 3年度 担当課名	障害者生活支援課						事業評価区分	一般		

令和 3年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	公益財団法人杉並区障害者雇用支援事業団	根拠 法令 等	(1) (2)	杉並区公益財団法人に対する助成に関する条例 障害者の雇用の促進に関する法律
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	公益財団法人障害者雇用支援事業団が、その設立目標である障害者の雇用支援に関する事業を活発に行なうことができよう、財団運営の安定に資する。	活動指標	指標名 (1)	雇用支援対象者数
		指標説明	指標名 (2)	就労移行支援事業登録者数 + 新規登録者数 職場定着支援件数
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	公益財団法人杉並区障害者雇用支援事業団に対し、必要な経費を助成する。 区市町村障害者就労支援事業を委託し、実施する。	指標説明	成果指標	就職者の割合
			指標名 (1)	事業団からの就職者数 ÷ 雇用支援対象者数
			指標名 (2)	過年度からの継続就労者
			指標説明	4月1日時点の利用者のうち、過年度に就職して4月1日時点で就労が継続している者の数

指標、総事業費・コスト把握 (P l a n ・ D o)

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 (1)	1 人	152	160	116	160	91	160	56.9	93.9	
活動指標 (2)	2 件	6,167	6,300	6,568	6,600	7,185	7,900	108.9		
成果指標 (1)	3 %	53.6	60	46.6	60	34.1	60	56.8		
成果指標 (2)	4 人	587	600	640	600	681	600	113.5		
事業費	5 千円	81,516	88,825	84,320	96,935	91,007	95,260	特記事項		
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0			
(内) 委託費	7 千円	71,300	73,597	70,682	80,533	75,949	78,487			
職員数	常勤職員数 (再任用含)	8 人	1.26	1.15	1.17	1.20	1.07	1.38		
	上記以外の職員	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	10 千円	10,985	10,026	9,949	10,204	8,927	11,513		
	上記以外の職員	11 千円	0	0	0	0	0	0		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	92,501	98,851	94,269	107,139	99,934	106,773			
単位当たりコスト (12-6) ÷ 1)	13 円	608,559	617,819	812,664	669,619	1,098,176	667,331			
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	2,393	2,367	2,367	2,378	2,424	2,378		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	2,393	2,367	2,367	2,378	2,424	2,378		
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	90,108	96,484	91,902	104,761	97,510	104,395			
受益者負担比率 (14 ÷ 12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

令和 4年度杉並区事務事業評価表（2）

令和 3年度 事業実施状況（D o）

整理番号 182

	内 容	規模	単位	事業費（千円）
主な取組	運営費助成			15,058
	区市町村就労支援事業委託			75,949
	その他（ ）			
事業実績	<p>雇用支援については、令和3年度新規登録者数が91名（前年度比25名減）、内訳として、就労・生活支援事業が72名（同27名減）、法内の就労移行支援事業が19名（同2名増）でした。</p> <p>一方、定着支援については、延べ相談件数が7,185件（前年度比617名増）となっています。</p> <p>定着支援を受けている登録者の3か年定着率は、元年度50%、2年度55.2%、3年度49.2%です。</p>			

令和 3年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	<p>【民間企業における法定障害者雇用率】</p> <p>平成16年：1.8% 平成30年：2.2% 令和3年3月1日から2.3%</p> <p>障害者の雇用促進のため段階的に雇用率が引き上げられたように、国の障害者雇用施策の強化推進に伴い、民間の支援事業所も増加しています。公共性が高い事業団に対しては、高次脳機能障害者や難病、重度障害者等、民間事業所では対応困難なケースへの対応が求められています。また、技術革新による環境変化やウィズ・ポストコロナ時代に対応するICTを活用した在宅就労や、障害特性に合わせた短時間労働など、多様な働きかたに対する支援の充実を期待する声が寄せられています。</p>
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	<p>民間の就労移行支援事業所からの就職者数は今後も増加すると予想されますが、公益財団法人である雇用支援事業団には、そのような民間事業所では対応できない多様なニーズへの対応が引き続き求められます。また、定着支援へのニーズはますます高まると予想される中、個々の障害者と企業双方に対し、障害者が長く働き続けるための丁寧な支援に取り組んでいきます。</p>
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	<p>雇用支援事業団登録者数及び就労者の割合は、民間の就労移行支援事業所からの就労者増に加え、コロナ禍の影響もあり前年度実績を下回ることとなりました。しかしながら、新規登録者数に対する定着支援利用者の割合は約50%と同程度で推移しており、定着支援に対するニーズの高さが伺えます。</p> <p>定着支援件数についても、障害福祉サービスの就労定着支援事業から引き継がれるケースに加え、コロナ禍による在宅就労や時短対応など、新たな働きかたに対する本人・企業双方からの相談などが引き続き増えており、前年度に続き過去最高の相談件数を更新しました。</p>
評価と課題	<p>新規登録者は前年度実績比で80%近く、中でも定着支援利用者は前年度とほぼ同程度の割合となっており、コロナ禍においても区市町村支援事業として一定の役割は果たしていると評価できます。雇用支援対象者に対する求職者の割合が低下する中では、事業団からの就職者数が減少することはやむ無しとも言えます。定着支援件数が引き続き増加していることから、今後は雇用支援事業団に求められる役割の第一を定着支援と位置づける一方、コロナ禍による在宅就労や時短対応など、新たな働きかたに対する支援など、就労支援についてはより一層、民間事業所との差別化を図る必要があります。</p>

令和 5年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）・対象の見直し
予算の方向性の理由・内容	<p>民間就労移行支援事業所を利用し就労する方が増える中、公益法人である雇用支援事業団の就労支援は、より重い障害のある方や高次脳機能障害など民間事業所では対応が難しい方々への支援に注力していきます。また、短時間労働、在宅就労など多様なニーズにも対応していきます。</p> <p>さらに、障害者が長く働き続けるための定着支援を雇用支援事業団のメインの事業と捉え、個々の障害者に合わせたきめ細やかな支援に加え、企業に対する相談支援や障害者理解の推進にも引き続き力を入れていきます。</p>	

令和 4年度杉並区事務事業評価表 (1)

(00198)

事務事業名称	障害者福祉会館事業運営			款	04	項	01	目	03	事業	027	整理番号	186
現担当課名	障害者生活支援課		係名	管理係		連絡先電話番号	2273		昨年度整理番号	201			
上位施策No・施策名	16 障害者の社会参加と就労機会の充実							予算事業区分	既定事業				
事業開始	昭和57年度												
令和 3年度担当課名	障害者生活支援課							事業評価区分	一般				

令和 3年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	障害者福祉会館運営協議会及び事業の利用者	根拠法令等	(1) 杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例 (2) 杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例施行規則
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	障害者福祉会館の部屋の貸し出し等、利用頻度を高める。 障害者福祉会館利用者の健康増進、相互交流を図る。	活動指標	会議室の利用件数
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	障害者福祉会館の維持管理及び事業運営等の業務を杉並障害者福祉会館運営協議会に委託する。 福祉会館まつり等行事、各種教室事業等自主事業への補助を行う。	指標名 (1)	会議室の利用延べ人数
		指標名 (2)	会議室の利用延べ人数
		成果指標	会議室の開館日に対する利用率
		指標名 (1)	各会議室の利用件数 ÷ 年間利用可能部屋数 × 100の平均値
		指標名 (2)	
		指標説明	

指標、総事業費・コスト把握 (P l a n ・ D o)

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 (1)	1 件	3,491	4,000	2,600	3,000	2,788	4,000	92.9	94.3	
活動指標 (2)	2 人	46,028	56,000	23,116	25,000	28,853	35,000	115.4		
成果指標 (1)	3 %	48.2	60	41.3	50	53.9	60	107.8		
成果指標 (2)	4									
事業費	5 千円	70,538	73,080	68,037	79,154	74,679	79,937	特記事項		
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0			
(内) 委託費	7 千円	65,805	68,985	65,708	75,059	72,012	75,570			
職員数	常勤職員数 (再任用含)	8 人	0.42	0.52	0.48	0.57	0.42	0.53		
	上記以外の職員	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	10 千円	3,662	3,648	3,470	4,235	2,794	4,422		
	上記以外の職員	11 千円	0	0	0	0	0	0		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	74,200	76,728	71,507	83,389	77,473	84,359			
単位当たりコスト ((12-6) ÷ 1)	13 円	21,255	19,182	27,503	27,796	27,788	21,090			
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	0	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	74,200	76,728	71,507	83,389	77,473	84,359			
受益者負担比率 (14 ÷ 12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

令和 4年度杉並区事務事業評価表 (2)

令和 3年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 186

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	管理運営委託	1	館	46,125
	区の補助事業による福祉会館まつり等各種催物助成	1	館	2,143
	運営協議会運営補助	1	館	525
	送迎用バス運行業務委託	1	館	25,872
	その他 (会館運営事務費)			14
事業実績	<p>手話講習会や各種教室が2年ぶりに開催され、会館の利用者数が増加しました。手話講習会では定員を上回る応募があり、夜間部では新たに養成応用講習会が開催されました。しかし野外活動や夏まつりなどのレクリエーション行事は、新型コロナウイルスの影響を受けて昨年度に引き続き中止となりました。</p>			

令和 3年度 評価と課題 (C h e c k)

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 (期待・要望・苦情など)	<p>障害者福祉会館運営協議会は区の委託事業とは別に、自主事業として福祉会館まつりや各種催物を実施しています。平成17年度まで直営で実施していた「ひろば事業」と「相談支援事業」については、平成18年度から障害者自立支援法に基づく地域生活支援事業として同運営協議会に委託して行ってきましたが、平成25年度から相談体制の再構築等により「ひろば事業」は区の直営に戻り、「相談支援事業」は委託を終了しました。また、利用者送迎用バス運行業務委託については運営協議会への委託費での契約から、平成28年1月より区との契約に変更となっています。</p> <p>利用者からは、各種講座や教室の内容及び申し込み方法について様々な要望が寄せられています。</p>
事業の今後 (3~5年) の予測と方向性	<p>新型コロナウイルスの感染者の減少により、会議室の利用者が更に増加することが見込まれます。新型コロナによる生活様式の変化や高齢化に伴う障害者の増加等、社会環境の変化によりニーズの多様化が予想されることから、事業内容を検討する必要があります。</p>
計画 (目標値) に対する実績 (指標の分析等)	<p>2年ぶりに開催された手話講習会やスポーツ教室、料理教室やクリスマス音楽会などの各種教室や催し物が開かれ、会議室の利用者数や利用件数は、前年に比べ増加しました。</p>
評価と課題	<p>運営協議会は、区からの受託事業として手話講習会の実施やパソコン講習会等、障害者の社会促進や自立を促進する事業を行い、区の障害者支援施策において重要な役割を担っています。</p> <p>今年度は、新型コロナによる規制が緩和され、各種教室が開かれることにより、利用者数は前年度と比較して約25%増加しました。しかし、より多くの人が来館されるレクリエーション行事は、新型コロナ感染拡大防止の観点から昨年度に引き続き中止となりました。</p> <p>今後は、講座内容の充実させ、周知方法や申し込み方法の見直しを図ることにより、利用者の満足度向上につなげ、利用者の増加に努めます。</p>

令和 5年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>障害者福祉会館は、障害者団体活動の地域の拠点としての役割と、障害者の自立支援や社会参加の場としての役割があります。現在の予算の中で、ニーズに合った各種講座を実施し、催しの内容を充実させることにより、利用率の向上につなげます。</p>	

令和 4年度杉並区事務事業評価表 (1)

(00199)

事務事業名称	視覚障害者会館事業運営	款	04	項	01	目	03	事業	028	整理番号	187	
現担当課名	障害者生活支援課	係名	管理係			連絡先電話番号	2273		昨年度整理番号	202		
上位施策No・施策名	16 障害者の社会参加と就労機会の充実					予算事業区分	既定事業					
事業開始	昭和57年度											
令和 3年度担当課名	障害者生活支援課					事業評価区分	一般					

令和 3年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	はり、きゅう、マッサージの免許を有する視覚障害者で、自営や雇用が困難な人 視覚障害者及び家族、ボランティア団体	根拠法令等 (1) (2)	杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例 杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例施行規則
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	三療 (はり、きゅう、マッサージ) の免許を有する視覚障害者で、自営や雇用されることが困難な人に施術の場を提供し、自立の支援を行う。 ○視覚障害者を対象に、教養・レクリエーション事業として点字やパソコン、生活支援講座などの講習会を行い、視覚障害者の日常生活の向上を図る。	活動指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)	三療 (はり、きゅう、マッサージ) の利用者数
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	視覚障害者会館の維持管理及び運営等の業務をNPO法人杉並区視覚障害者福祉協会に委託する。 三療 (はり、きゅう、マッサージ) の施術の場の提供による視覚障害者への就労支援を行う。 ○視覚障害者及び視覚障害者をサポートするためのボランティアを対象にしたパソコン教室、点字教室等の講座を実施する。 ○視覚障害者の文化教養の向上と福祉の理念を学習するための講演会等を実施する。	指標説明 成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明	利用率 三療施術実施時間 ÷ 年間三療施術実施可能時間

指標、総事業費・コスト把握 (P l a n ・ D o)

区分	単位	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 (1)	1 人	1,310	1,500	897	1,500	1,087	1,500	72.5	92.1	
活動指標 (2)	2									
成果指標 (1)	3 %	24.3	30	19.7	30	20.6	30	68.7		
成果指標 (2)	4									
事業費	5 千円	15,356	15,526	14,529	17,346	15,970	17,233	特記事項		
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0			
(内) 委託費	7 千円	15,356	15,526	14,529	17,346	15,970	17,233			
職員数	常勤職員数 (再任用含)	8 人	0.21	0.21	0.21	0.26	0.22	0.21		
	上記以外の職員	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	10 千円	1,831	1,367	1,390	1,815	1,464	1,752		
	上記以外の職員	11 千円	0	0	0	0	0	0		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	17,187	16,893	15,919	19,161	17,434	18,985			
単位当たりコスト ((12-6) ÷ 1)	13 円	13,120	11,262	17,747	12,774	16,039	12,657			
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	4,642	5,078	5,302	5,435	5,296	5,885		
	都からの補助金等	16 千円	2,321	2,539	2,651	2,717	2,648	2,943		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	6,963	7,617	7,953	8,152	7,944	8,828		
差引: 一般財源 (12-18)	19 千円	10,224	9,276	7,966	11,009	9,490	10,157			
受益者負担比率 (14 ÷ 12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

令和 4年度杉並区事務事業評価表（2）

令和 3年度 事業実施状況（D o）

整理番号 187

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	管理運営委託			
	その他（ ）			

事業実績

視覚障害者会館は、NPO法人杉並区視覚障害者福祉協会に運営を委託し、盲人ホーム事業としての視覚障害者の自立援助のための点字講習会、生活支援講座、三療施術講習会、文化講座等の開催及び三療施術を実施しています。
令和3年度においては、令和2年度から続く新型コロナウイルス感染症の影響があったものの、感染症対策を行いながら、事業を実施したことで、前年度より利用者数が増加しました。

令和 3年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	<p>運営委託事業者であるNPO法人杉並区視覚障害者福祉協会の前身は、杉並区視覚障害者福祉協会で、創立以来80年の伝統ある任意団体です。当会館の前身の盲人会館を含めて運営に深くかかわってきました。平成18年度から平成26年度まで、指定管理者として視覚障害者会館の管理運営等を行ってきましたが、平成27年度からは運営形態を業務委託に変更し運営しています。区としては、建物・設備等の維持管理を担っています。</p> <p>会館が実施している各種講座、三療施術講習会は利用者におおむね好評です。</p>
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	<p>視覚障害者に特化した支援の場として、これまでの実績を生かした運営に取り組んでいます。</p>
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	<p>三療（マッサージ、針、灸）利用者が目標値に達していません。民間によるマッサージ等の施術所が増加したことや三療施術の周知不足によることが主な要因と考えます。また、施術者及び利用者ともに高齢化しており、利用者はほぼリピーターとなっています。</p> <p>令和3年度においては、令和2年度から続く新型コロナウイルス感染症の影響があったものの、感染症対策を行いながら、事業を実施したことで、前年度より利用者数が増加しました。</p>
評価と課題	<p>視覚障害者会館は、視覚障害者の自立更生を図り、交流の場を提供する数少ない支援施設です。NPO法人杉並区視覚障害者福祉協会が、障害特性への理解や配慮など専門的な知識や経験を生かした運営を着実に進めています。</p> <p>令和3年度においては、令和2年度から続く新型コロナウイルス感染症の影響があったものの、感染症対策を行いながら、事業を実施したことで、利用者数が増加しましたが、利用率は20%台にとどまっています。</p> <p>施術者や施設利用者は高齢化しており、利用者もリピーターが多いことから、今後は委託法人と連携し、新たな利用者の開拓に努めます。</p>

令和 5年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
予算の方向性の理由・内容	<p>はり・灸・マッサージの資格をもった視覚障害者に、施術の場を提供するとともに、視覚障害者を対象とした生活支援講座やパソコン教室などの講座・教室を実施することで、視覚障害者の社会参加支援を推進します。また、施設の設置目的等を踏まえて、委託法人と連携し利用者のニーズに応えた講座の実施に努めます。</p>	

令和 4年度杉並区事務事業評価表 (1)

(00200)

事務事業名称	障害者交流館運営			款	04	項	01	目	03	事業	029	整理番号	188
現担当課名	障害者生活支援課		係名	管理係			連絡先電話番号	2273		昨年度整理番号	203		
上位施策No・施策名	16 障害者の社会参加と就労機会の充実							予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成 7年度												
令和 3年度担当課名	障害者生活支援課							事業評価区分	一般				

令和 3年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	和田障害者交流館及び高円寺障害者交流館の利用者及び受託者	根拠法令等 (1) (2)	杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例 杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例施行規則
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	障害者、障害者団体及び障害者福祉ボランティア等に施設を貸出し、地域における自主的な活動を通じて、自立と社会参加を促す。	活動指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)	利用回数 利用人員
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	和田障害者交流館及び高円寺障害者交流館の維持管理、運営等を杉並区障害者団体連合会に委託する。	指標説明 成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明	利用率 利用時間数 ÷ 年間利用可能時間数

指標、総事業費・コスト把握 (P l a n ・ D o)

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 回	3,433	4,000	1,543	4,000	2,169	4,000	54.2	82.2
活動指標 (2)	2 人	46,724	56,000	16,159	56,000	21,122	56,000	37.7	
成果指標 (1)	3 %	44.9	60	22.3	60	27.6	60	46.0	
成果指標 (2)	4								
事業費	5 千円	36,760	39,995	34,079	46,050	37,867	45,790	特記事項	
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	予算執行率が90%未満となった理由 新型コロナウイルス感染症対策に係る国の緊急事態宣言発出に伴い、開館時間の短縮措置を実施したことにより、管理運営委託における人件費等が減少しました。 事業費が前年度よりも10%以上増となった理由 令和3年度から非常勤職員に対して、期末手当を支給しているため、人件費が増加しました。	
(内) 委託費	7 千円	36,547	39,995	34,079	46,050	37,867	45,790		
職員数	8 人	0.21	0.21	0.21	0.26	0.22	0.21		
上記以外の職員	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
人件費	10 千円	1,831	1,367	1,390	1,815	1,464	1,752		
上記以外の職員	11 千円	0	0	0	0	0	0		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	38,591	41,362	35,469	47,865	39,331	47,542		
単位当たりコスト ((12-6) ÷ 1)	13 円	11,241	10,341	22,987	11,966	18,133	11,886		
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	38,591	41,362	35,469	47,865	39,331	47,542		
受益者負担比率 (14 ÷ 12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

令和 4年度杉並区事務事業評価表 (2)

令和 3年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 188

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	管理運営委託 (和田)			17,798
	管理運営委託 (高円寺)			20,069
	その他 ()			
事業実績	<p>和田障害者交流館及び高円寺障害者交流館の事業運営は、杉並区障害者団体連合会に委託しています。</p> <p>和田及び高円寺障害者交流館は、障害者を主体とした団体に施設の貸し出しを行っています。</p> <p>令和3年度においては、令和2年度から続く新型コロナウイルス感染症の影響があったものの、感染症対策を行いながら、事業を実施したことで、前年度より利用者数が増加しました。</p>			

令和 3年度 評価と課題 (C h e c k)

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 (期待・要望・苦情など)	<p>和田障害者交流館は平成7年度の開設から杉並区障害者雇用支援事業団に、高円寺障害者交流館は平成14年3月の開設から杉並区障害者団体連合会に運営を委託していました。平成18年度からは杉並区障害者団体連合会を指定管理者として、和田障害者交流館と合わせて管理運営等を行ってきましたが、平成24年度から運営形態を業務委託に変更し運営しています。区としては、建物・設備等の維持管理を担っています。</p> <p>高円寺障害者交流館は、障害者団体等以外に目的外使用として一般区民にも開放しています。利用者・利用団体からは、おおむね高評価を得られています。</p>
事業の今後 (3~5年) の予測と方向性	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、今後も利用者数や利用率の大幅な増加は難しい状況ですが、感染対策を行いつつ、障害のある方やボランティア活動をしている方々の活動の場及び交流や余暇活動を促進する場としての役割を引き続き推進していきます。</p>
計画 (目標値) に対する実績 (指標の分析等)	<p>和田及び高円寺交流館の利用者数や利用率については、利用する団体構成員の高齢化等により、団体の活動回数や参加者数が減っています。令和3年度においては、令和2年度から続く新型コロナウイルス感染症の影響があったため、目標値を下回る結果となっていますが、感染症対策を行いながら、事業を実施したことで、前年度より利用者数が増加しました。</p>
評価と課題	<p>和田障害者交流館及び高円寺障害者交流館は、多くの障害者に交流の場を提供しています。</p> <p>高円寺障害者交流館においては、地域に支えられた交流館まつりをはじめ、会議室を広く一般に開放し、地域に密着した障害者施設として運営しています。</p> <p>和田障害者交流館の利用率が低い状況が続いていることから、老朽化が進む併設の和田小学校や和田区民集会所の施設再編・整備の状況を踏まえながら、施設の利用方法等について、見直しを図っていきます。</p>

令和 5年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>障害者交流館は、今後も障害者や支援者の活動及び地域との交流の場としての役割を担い、円滑な運営に努めます。</p> <p>また、現状の予算の範囲内で利用方法等の見直しを図ります。</p>	

令和 4年度杉並区事務事業評価表 (1)

(00201)

事務事業名称	すぎのき生活園事業運営	款	04	項	01	目	03	事業	030	整理番号	189
現担当課名	障害者生活支援課	係名	すぎのき生活園				連絡先電話番号	3399-8953		昨年度整理番号	204
上位施策No・施策名	16 障害者の社会参加と就労機会の充実						予算事業区分	既定事業			
事業開始	昭和55年度										
令和 3年度担当課名	障害者生活支援課						事業評価区分	一般			

令和 3年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	すぎのき生活園利用者 (利用者 = 重度知的障害者)	根拠法令等 (1) (2)	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律 杉並区立すぎのき生活園運営要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	障害程度の重い知的障害者に対し、日常生活の援助や各種活動の提供・支援を行い、日々の生活の充実と社会生活能力の向上を図る。	活動指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)	日常生活支援活動における利用者数 日常生活支援活動における延べ利用者数
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	日常生活動作 (更衣・排泄・食事・移動等) への支援や介助を行う。 回収、リサイクル、軽作業、ウォーキング、畑作業、陶芸等の活動を行う。 機能訓練、自立能力向上への支援を行う。 送迎バス・給食を提供する。 健康管理、各種検診の実施、栄養指導を行う。 各種行事の実施と地域との交流を進める。	指標説明 成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明	個々の利用者の年間個別支援計画に対して成果のあった利用者の割合 成果のあった利用者 ÷ 利用者数 出席率 延べ通所人数 ÷ (登録者数 × 開所日)

指標、総事業費・コスト把握 (P l a n ・ D o)

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 (1)	1 人	82	84	81	84	83	84	98.8	98.0	
活動指標 (2)	2 人	17,035	18,370	14,329	18,295	15,365	18,152	84.0		
成果指標 (1)	3 %	98.3	100	98.5	100	95.2	100	95.2		
成果指標 (2)	4 %	89.8	90	72.8	90	76.5	90	85.0		
事業費	5 千円	104,649	116,709	112,332	118,058	115,723	121,107	特記事項		
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0			
(内) 委託費	7 千円	96,146	109,218	107,771	112,170	110,919	115,451			
職員数	常勤職員数 (再任用含)	8 人	51.00	51.00	50.93	51.00	53.58	51.11		
	上記以外の職員	9 人	2.00	2.00	2.00	2.00	2.30	2.30		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	10 千円	432,802	444,618	433,058	426,463	439,916	422,657		
	上記以外の職員	11 千円	6,160	6,160	7,256	7,256	8,453	8,453		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	543,611	567,487	552,646	551,777	564,092	552,217			
単位当たりコスト ((12-6) ÷ 1)	13 円	6,629,402	6,755,798	6,822,790	6,568,774	6,796,289	6,574,012			
財源	受益者負担分	14 千円	203,086	211,362	176,974	211,362	201,094	211,012		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	203,086	211,362	176,974	211,362	201,094	211,012		
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	340,525	356,125	375,672	340,415	362,998	341,205			
受益者負担比率 (14 ÷ 12)	20 %	37.4	37.2	32.0	38.3	35.6	38.2			

令和 4年度杉並区事務事業評価表 (2)

令和 3年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 189

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	送迎用バス運行業務委託	242	日	77,025
	給食調理業務委託	239	日	33,832
	日常生活活動	83	人	2,255
	利用者健康管理	83	人	2,175
	その他 (郵券、保険 ほか)			436
事業実績	<p>各利用者の個別支援計画に基づいた生活支援、健康の維持、機能低下を防ぐ取り組み、その他各利用者の特性や興味に合わせた活動の提供をしています。送迎バスや給食提供、各種の検診や健康管理、栄養指導、その他ご家族も含めた生活全般の相談支援を行ってきました。</p> <p>新型コロナウイルス感染症予防対策等で出席率の低下が見られたのと同時に社会見学など季節の行事や地域の皆様と交流を深めるための杉実祭など行事を中止とせざるを得ない状況がありました。</p>			

令和 3年度 評価と課題 (C h e c k)

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 (期待・要望・苦情など)	<p>東京都杉並児童学園を前身として、昭和55年に区へ移管され、平成21年に障害者自立支援法に基づく生活介護施設、平成25年度には障害者総合支援法に基づく生活介護施設として運営しています。</p> <p>障害の多様化、重度化が進む中で、行政、民間ともに各種サービスが拡充し、グループホームから通う利用者も増加しています。また、近年は就労系サービス施設に通っていた方々が高齢化等の理由で通所困難になり、すぎのき生活園への移行を希望するケースが増えてきました。</p> <p>また、利用者の重度化や高齢化に伴い、個々の支援内容の充実を求める声が寄せられています。</p>
事業の今後 (3~5年) の予測と方向性	<p>新たに特別支援学校卒業予定生徒の施設利用希望者が増えており、障害の重複化・重度化傾向や他害など対応が難しい卒業生も増えていきます。すぎのき生活園の利用者は37%が重複障害であり、高齢化により機能低下している利用者や民間施設で対応が難しい利用者も増えていきます。また、支援が必要な家族も増え、支援業務の範囲が広がっています。障害の重度化・重複化が進む中、利用者が安全に過ごし適切な支援を行うためには、集団規模の縮小と障害に応じた設備を整える必要があります。集団規模の適正化を図るには、民間施設の整備に合わせ、区立施設利用者の一定数を移行する必要があります。そのため令和7年度開設予定の久我山施設整備と併せて、重度知的障害者の支援ノウハウに関する民間施設への支援力を高める取組に努めます。</p>
計画 (目標値) に対する実績 (指標の分析等)	<p>目標値はおおむね達成されています。利用者の高齢化や重度化等により個別 (1対1) 対応が増加していることから、毎年職員を増やし対応しています。</p>
評価と課題	<p>すぎのき生活園は重度知的障害者84名利用者の高齢化や障害の重度化、強度行動障害で個別対応が必要な利用者が増える中、安全で適切な支援を実施するための適正な集団規模を模索しています。一方規模を生かした多様な活動やプログラムが提供され、地域に根ざした施設づくり等の評価を得ています。また、今後整備が進む民間施設と連携しながら重度知的障害者の日中活動の場を確保するとともに高い支援力を持った人材育成が急務となっています。この間、民間事業者による新たな重度知的障害者通所施設が整備されたことに加え、令和7年度に久我山に一定規模の施設が開設予定で、引き続き支援技術の提供など民間施設へ支援体制の構築に努めます。</p>

令和 5年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>新たな施設整備のスケジュールに合わせて区立施設利用者の民間施設への移行を計画的に進めるため、地域割りなどの区の方針を踏まえ、利用者や家族の理解が得られるよう働きかけていきます。民間施設への支援については、定期的に意見交換や情報共有の場を設置し、重度知的障害者のノウハウを伝えながら、各民間施設の支援力の向上を図られるよう努めます。</p>	

令和 4年度杉並区事務事業評価表 (1)

(00202)

事務事業名称	こすもす生活園事業運営			款	04	項	01	目	03	事業	031	整理番号	190
現担当課名	障害者生活支援課		係名	こすもす生活園			連絡先電話番号	3317-9312		昨年度整理番号	205		
上位施策No・施策名	16 障害者の社会参加と就労機会の充実							予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成 5年度												
令和 3年度担当課名	障害者生活支援課							事業評価区分	一般				

令和 3年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	こすもす生活園の利用者 (利用者 = 重度身体障害者)	根拠法令等 (1) (2)	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律 杉並区身体障害者通所施設条例、同施行規則
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	利用者が自分の持っている能力を十分発揮し、地域社会において生き生きとした生活ができるよう支援する。家族を含めた利用者の24時間の生活を見据え健康管理、環境整備等、関係機関とのコーディネートを行う。	活動指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)	登録者数 = 生活介護登録者数 + 自立訓練登録者数 延べ利用者数
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	利用者が自分の持っている能力を発揮し、地域社会で生き生きとした生活ができるよう、個々のニーズに基づき自立と社会参加を支援する。個別支援計画を策定し、介護・支援、給食・送迎、機能訓練、入浴、社会適応支援、スポーツ・レクリエーション、創作的・生産的活動、健康管理、医療的ケア、相談支援、地域交流・広報活動などを行う。	指標説明 成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明	個々の利用者の年間個別支援計画に対して成果のあった利用者の割合 成果のあった利用者 ÷ 利用者数 出席率 延べ通所人数 ÷ (日々定員 × 開所日)

指標、総事業費・コスト把握 (P l a n ・ D o)

区分	単位	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 (1)	1 人	25	27	26	26	26	24	100.0	98.8	
活動指標 (2)	2 人	4,710	5,060	3,735	5,808	4,086	5,832	70.4		
成果指標 (1)	3 %	92.0	100	88.0	100	85.0	100	85.0		
成果指標 (2)	4 %	75.4	85	64.0	85	70.4	85	82.8		
事業費	5 千円	56,221	58,198	56,987	71,093	70,236	70,940	特記事項		
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	前年度事業費から10%以上増の理由 入園希望及び自力通所の利用者送迎サービスに対応するため、通所バスを1台増やしたことによるものです。		
(内) 委託費	7 千円	52,094	54,132	53,308	66,791	66,312	66,981			
職員数	8 人	20.02	19.80	18.94	18.82	18.59	20.09			
上記以外の職員	9 人	3.00	3.00	2.08	2.00	2.83	3.00			
人件費	10 千円	170,230	169,240	157,452	156,431	151,714	164,229			
上記以外の職員	11 千円	9,240	9,240	7,546	7,256	10,400	11,025			
総事業費 (5+10+11)	12 千円	235,691	236,678	221,985	234,780	232,350	246,194			
単位当たりコスト ((12-6) ÷ 1)	13 円	9,427,640	8,765,852	8,537,885	9,030,000	8,936,538	10,258,083			
財源	受益者負担分	14 千円	0	70,473	55,022	70,411	61,546			65,225
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0			0
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0			0
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	0	70,473	55,022	70,411	61,546	65,225		
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	235,691	166,205	166,963	164,369	170,804	180,969			
受益者負担比率 (14 ÷ 12)	20 %	0.0	29.8	24.8	30.0	26.5	26.5			

令和 4年度杉並区事務事業評価表 (2)

令和 3年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 190

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	送迎用バス運行業務委託	242	日	52,008
	給食調理業務委託	242	日	14,745
	利用者健康管理	24	人	1,257
	医療的ケア	6	人	1,307
	その他 (日常生活活動・行事特別活動ほか)			919
事業実績	<p>4台の通所バスで送迎を行っています。給食は、障害の特性に応じた食形態を提供し、摂食嚥下機能の維持向上に取り組んでいます。嘱託医師 (内科・小児神経科・皮膚科・整形外科・摂食・心療内科) による健康相談及び眼科・耳鼻科の検診を実施し、健康管理に努めています。医療的ケア対象者には指導医の助言を受け適切なケアを実施しています。創作的活動、レクリエーション、広報活動等の事業を行い利用者の自立と社会参加に努めています。令和3年度はコロナ禍のため、外出行事は自粛し、地域交流事業は縮小しましたが、オンラインコンサートなどの新たな試みを実施しました。</p>			

令和 3年度 評価と課題 (C h e c k)

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 (期待・要望・苦情など)	<p>平成5年に重度の身体障害者を対象とする法外の通所施設としてスタートし、支援費制度導入時の平成16年にデイサービス事業を行う法内の施設へと移行しました。平成18年に障害者自立支援法が施行され、生活介護事業と自立訓練事業を実施、平成25年からは、障害者総合支援法に基づいた運営を実施しています。平成9年に区立なのはな生活園、平成21年にはマイルドハート高円寺、平成30年に永福南社会福祉ガーデン、令和元年にはシャローム上井草さくらが開所したことで、区内の重度身体障害者の日中活動の場が拡充されています。</p> <p>利用者やその家族の高齢化、中途障害者や医療的ケアが必要な方の通所の増加等に伴い、個別の事情に配慮した支援が求められています。</p>
事業の今後 (3~5年) の予測と方向性	<p>利用者の高齢化・重度化及び障害の多様化が進んでいます。また、医療的ケアを必要とする方の増加や新たなニーズが見込まれます。利用者の生活状況もグループホームに入居している方が増えてきており、関係機関との連携もより一層必要になってきています。</p> <p>利用者一人ひとりの障害状況の配慮や、24時間の地域生活を見据えた支援が求められており、職員の専門性や支援力の向上に努めるとともに適正な職員配置を推進します。</p>
計画 (目標値) に対する実績 (指標の分析等)	<p>令和3年度は、中途で入所した方が1名、年齢が65歳に達し介護保険サービスへ移行した方が1名、入所施設への移行が2名、逝去された方が1名いらっしゃいました。</p> <p>利用者は重度身体障害者であり、新型コロナウイルス感染症予防で自ら自粛する方がいたり、季節の変わり目等で体調を崩しやすい方がいたりして出席率は目標値に達しませんでした。ただし、園では新型コロナウイルス感染予防として、マスク着用や消毒の徹底等の対策をとってきたこともあり、前年度より回復してきています。</p>
評価と課題	<p>利用者・家族の高齢化が進み、家庭での支援力低下も診られることから、関係機関との連携を図りながら、サービス等利用計画と連動した個別支援計画を作成し、緊急時の対応や将来を見据えた支援を行なっています。</p> <p>また、利用者・家族との丁寧なコミュニケーションに心掛け、ニーズを把握し、対応できるように支援方法の工夫に努めています。</p> <p>障害の重度化や多様化、医療的ケアへのニーズの増加が見込まれることから、職員においては福祉・医療の専門職としての力量を高め、支援力の向上に努めていきます。</p>

令和 5年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>重度身体障害者である利用者の高齢化・重度化に加えて障害の多様化や新たな医療的ケアニーズにより、介護量や個別の配慮を要する支援が増加しています。職員の適正配置とともに福祉・医療専門職としての質の向上が求められています。</p> <p>地域生活支援の視点から関係機関との連携を強化するとともに、研修等により支援力の向上に取り組みます。</p>	

令和 4年度杉並区事務事業評価表 (1)

(00203)

事務事業名称	なのはな生活園事業運営	款	04	項	01	目	03	事業	032	整理番号	191
現担当課名	障害者生活支援課	係名	なのはな生活園				連絡先電話番号	3335-0415		昨年度整理番号	206
上位施策No・施策名	16 障害者の社会参加と就労機会の充実						予算事業区分	既定事業			
事業開始	平成 9年度										
令和 3年度担当課名	障害者生活支援課						事業評価区分	一般			

令和 3年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	なのはな生活園の利用者 (利用者 = 重度身体障害者)	根拠法令等 (1) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律 (2) 杉並区立身体障害者通所施設条例、同施行規則
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	さまざまな活動や経験を通して、園の利用者である重度の身体障害者が、地域社会の中でその人らしく生き生きとした生活を送ることができるようにする。 園の利用者の健康を維持するため、健康管理と維持の支援や健康状態のチェック、医療的ケアを実施する。	活動指標 指標名 (1) 施設登録人数 (生活介護登録人数 + 自立訓練登録人数) 指標説明 施設の利用登録者の数 指標名 (2) 延べ通所者人数 指標説明 年間延べ通所者数
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	利用者が自分の持っている能力を十分発揮したり、新しい自分を発見できるように支援する。また、地域社会において生き生きとした生活が送れるよう、個々のニーズに基づき自立と社会参加の促進を図る。 個別支援計画の策定と実施、機能訓練・医療的ケア・入浴サービス・バス送迎・給食提供などを行う。また、支援の充実のために本人、家族、関係機関との情報共有を行う。	成果指標 指標名 (1) 個々の利用者の年間個別支援計画に対して成果のあった利用者の割合 指標説明 成果のあった利用者 ÷ 利用者数 指標名 (2) 出席率 指標説明 延べ通所人数 ÷ (定員数 × 開所日数)

指標、総事業費・コスト把握 (P l a n ・ D o)

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 (1)	1 人	33	31	31	32	32	30	100.0	98.5	
活動指標 (2)	2 人	5,507	5,866	4,860	5,842	4,945	5,866	84.6		
成果指標 (1)	3 %	100.0	100	100.0	100	100.0	100	100.0		
成果指標 (2)	4 %	81.9	85	71.4	85	72.9	85	85.8		
事業費	5 千円	68,489	69,698	68,760	71,592	70,507	72,083	特記事項		
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0			
(内) 委託費	7 千円	64,827	65,846	65,308	67,781	66,987	67,630			
職員数	常勤職員数 (再任用含)	8 人	19.87	22.30	20.30	22.30	22.87	22.47		
	上記以外の職員	9 人	3.10	4.00	3.40	2.00	2.00	2.00		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	10 千円	173,227	194,411	172,611	189,617	190,804	184,762		
	上記以外の職員	11 千円	9,548	12,320	12,335	7,256	7,350	7,350		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	251,264	276,429	253,706	268,465	268,661	264,195			
単位当たりコスト ((12-6) ÷ 1)	13 円	7,614,061	8,917,065	8,184,065	8,389,531	8,395,656	8,806,500			
財源	受益者負担分	14 千円	81,784	90,113	70,672	90,113	73,900	90,113		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	81,784	90,113	70,672	90,113	73,900	90,113		
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	169,480	186,316	183,034	178,352	194,761	174,082			
受益者負担比率 (14 ÷ 12)	20 %	32.5	32.6	27.9	33.6	27.5	34.1			

令和 4年度杉並区事務事業評価表 (2)

令和 3年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 191

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	送迎用バス運行業務委託	242	日	52,008
	給食調理業務委託	242	日	14,979
	利用者健康管理	32	人	909
	医療的ケア	6	人	1,504
	その他 (日常生活活動・行事特別活動ほか)			1,107
事業実績	<p>新型コロナ感染予防に努め運営を行いました。感染状況や感染症株の特徴を踏まえ、適宜感染予防を図り運営しました。送迎における負担を考慮し、送迎バス4台を効率的に活用し運行を行いました。利用者の状況を踏まえ、より安全に美味しく食べられるよう4種類の食形態を設け、給食提供しています。看護師を中心に健康管理を行い、障害特性や加齢に伴う健康面での個別のニーズに柔軟に対応しました。医療的ケアには、看護師、福祉職が安全に実施できるよう園の指導医から助言を受け、取り組んでいます。</p>			

令和 3年度 評価と課題 (C h e c k)

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 (期待・要望・苦情など)	<p>平成9年度なのはな生活園が法外の通所施設として開所し、平成16年度支援費制度施行に伴い、デイサービス事業を行う法内の施設へと移行しました。平成18年度障害者自立支援法施行後は、障害福祉サービスの生活介護事業と自立訓練事業を実施し、平成25年度からは障害者総合支援法に移行し同事業を継続して実施しています。平成15年度より医療的ケアを必要とする特別支援学校卒業生の受入れに対応するため、医療的ケア実施要領を定め医療的ケアを必要とする卒業生を含め、受け入れを行っています。また、新たな医療的ケア対応への要望には、医療的ケア内容をその都度実施要領を改定し柔軟に対応しています。</p>
事業の今後 (3~5年) の予測と方向性	<p>現利用者の加齢や疾病などから身体機能が低下し、新たな医療的な支援を必要とする方が増加していくことが予想されます。また、特別支援学校から医療的ケアを必要とする在籍者が増えていくことが見込まれています。中でも、人工呼吸器装着など高度な医療的ケア対応が必要な方も在籍されており需要に合わせた受入れ体制の検討が必要となります。</p> <p>利用者の多様化する医療的な支援に対応できるよう、看護師の確保と育成を強化するとともに、医療機関との連携に努めていきます。</p>
計画 (目標値) に対する実績 (指標の分析等)	<p>生活介護事業の通所延べ日数及び出席率は、前年度より微増となりましたが、依然として新型コロナ感染が広がっていたことで、自主的に感染防止による欠席や発熱した際の検査結果待ちなどによる欠席がありました。また、利用者の障害の特性から、疲れや季節の変化に伴う不調から入院や長期欠席することがあり出席率が上がらない傾向にあり目標値を達成できませんでした。</p>
評価と課題	<p>医療的ケアを含む重度の身体障害者に社会参加の機会と生活の質の向上及び身体機能の維持向上支援の提供を行っています。近年、利用者の高齢化や障害特性が多様化してきており、個別支援を必要とする利用者が増加しています。さらに、利用者や今後の特別支援学校在籍者予測から医療的ケアを必要とする方の増加が見込まれています。</p> <p>引き続き障害特性や個別支援に対応していくためには、専門性の高い職員の育成と確保が課題となっています。民間施設においても人工呼吸器装着者の受入れや障害特性の多様化が進んでいることから、支援方法や内容などを民間施設と情報共有し、連携して課題解決に取り組んでいきます。</p>

令和 5年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	対象の見直し
予算の方向性の理由・内容	<p>重度身体障害者の社会参加の場として継続して事業を行っていきます。利用者にとっては、施設利用開始から長期間にわたり利用する方が多く、加齢に伴い身体状況の変化から介助や支援の内容が個別に変化し多様化してきています。特に、既に利用されている方、これから利用される方で新たな医療的ケア (人工呼吸器など) を必要とする方が増えることが予想されます。安全に利用者の受け入れを行うため、人員の配置と人材育成による専門的な知識の向上を図り、安全な施設運営に努めます。</p>	

令和 4年度杉並区事務事業評価表 (1)

(00204)

事務事業名称	障害者の入所・通所施設の運営助成			款	04	項	01	目	03	事業	033	整理番号	192
現担当課名	障害者生活支援課		係名	管理係		連絡先電話番号	2273		昨年度整理番号	207			
上位施策No・施策名	16 障害者の社会参加と就労機会の充実							予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成21年度												
令和 3年度担当課名	障害者生活支援課							事業評価区分	一般				

令和 3年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	<p>民営化した障害者通所施設等を運営する法人</p>	<p>根拠法令等</p> <p>(1) 杉並区重度障害者通所施設整備・運営に関する補助要綱</p> <p>(2) 障害者支援施設マイルドハート高円寺「なでしこ」運営費補助要綱</p>
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	<p>民営化した重度身体障害者通所施設や新たに民間が開設した重度知的障害者通所施設が、区立生活園とともに重度障害者の受け入れに应运じていく。</p> <p>運営経費の一部を補助することにより、施設が安定して運営できるよう図る。</p>	<p>活動指標</p> <p>指標名 (1) 利用者登録人数 (年度当初)</p> <p>指標説明</p> <p>指標名 (2) 年間延べ利用者数</p>
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	<p>重度身体障害者施設において、特に経費を要する医療的ケアにかかる経費、及び送迎バス運行の経費を補助する。</p> <p>重度知的障害者施設において、施設運営にかかる施設借上げ経費や非常勤職員人件費等の運営経費の一部を補助する。</p> <p>障害者通所施設において、施設利用者の通所のための送迎サービスに要する経費の一部を補助する。</p>	<p>成果指標</p> <p>指標名 (1) 定員に対する年度末の登録者数の割合</p> <p>指標説明</p> <p>指標名 (2) 1日当たり平均利用者数</p> <p>指標説明</p> <p>年間延べ利用者数 ÷ 年間開園 (所) 日数 (6 施設の計)</p>

指標、総事業費・コスト把握 (P l a n ・ D o)

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 (1)	1 人	143	143	155	159	159	165	100.0	95.1	
活動指標 (2)	2 人	31,541	32,000	32,774	33,000	33,510	33,000	101.5		
成果指標 (1)	3 %	91.2	80	84.4	86	88.7	89	103.1		
成果指標 (2)	4 人	134	132	135	143	138	123	96.5		
事業費	5 千円	164,099	216,519	201,745	204,491	194,534	224,083	特記事項		
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0			
(内) 委託費	7 千円	0	0	0	0	0	0			
職員数	常勤職員数 (再任用含)	8 人	0.42	0.41	0.40	0.44	0.42	0.32		
	上記以外の職員	9 人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	10 千円	3,662	3,153	3,006	3,346	3,166	2,670		
	上記以外の職員	11 千円	308	308	363	363	368	368		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	168,069	219,980	205,114	208,200	198,068	227,121			
単位当たりコスト ((12-6) ÷ 1)	13 円	1,175,308	1,538,322	1,323,316	1,309,434	1,245,711	1,376,491			
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	0	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	168,069	219,980	205,114	208,200	198,068	227,121			
受益者負担比率 (14 ÷ 12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

令和 4年度杉並区事務事業評価表（2）

令和 3年度 事業実施状況（D o）

整理番号 192

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）	
	重度身体障害者支援施設等運営助成		3	所	115,430
	重度知的障害者通所施設運営助成		3	所	67,995
	障害者通所施設の送迎サービス助成（あけぼの作業所分）		1	所	11,109
	その他（ ）				

事業実績

重度身体障害者施設については、運営経費のうち、医療的ケアに係る非常勤職員人件費（指導医、看護師等）及び送迎バス運行にかかる経費の一部を補助しています。
 重度知的障害者施設については、施設運営費のうち、非常勤職員人件費、施設賃借料、送迎にかかる経費等の一部を補助しています。
 また、障害者通所施設については、施設利用者の通所のための送迎サービスに要する経費の一部を補助しています。

令和 3年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	<p>重度障害者通所施設の需要に応えるため、民間事業者による施設整備を図るとともに民間施設であっても公立施設と同等のサービスを提供し、安定的な運営を確保できるよう、運営費の一部助成を行っています。</p> <p>令和元年度から人工呼吸器管理障害者の受入れ施設に対し、看護師等の人件費の一部を補助しています。</p> <p>民間事業者からは、安定した運営確保のため、これまでの補助の継続について、要望が寄せられています。</p>
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	<p>障害者施設では、利用者の高齢化に伴う、重度障害者の割合や医療的ケアを必要とする利用者の増加が見込まれます。</p> <p>特別支援学校の卒業生や中途障害者等の日中活動の場の確保として、新規施設の整備を行うため運営費補助金の増加が想定されます。</p>
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	<p>令和元年度の重度身体障害者施設に続き、令和2年度には重度知的障害者施設1施設を新たに開設しました。</p> <p>令和3年度は、1日当たりの平均利用者数は目標値と近い数値となっており、新規施設の整備により年々増加しています。</p> <p>ただし、新規施設では特別支援学校の卒業生等の利用者の需要に対応するため、段階的に通所を行っていることから、定員に対する登録者の割合は目標値を下回っています。</p>
評価と課題	<p>引き続き運営費の補助を行い、安定した施設運営とサービスの質を維持できるよう取り組んでいます。また、新規開設施設については、計画的に利用者の受け入れを行っていくため、令和4年度も定員に満たない状態で運営を行います。利用者を制限している期間も安定した運営が維持できるよう、経過措置として補助を行っています。</p>

令和 5年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
予算の方向性の理由・内容	<p>障害者施設利用者の状況を踏まえて、より適正なサービスの提供と質の確保のため、引き続き運営費の一部補助を行います。</p> <p>補助金の執行に際しては、実績報告書等により事業内容の把握及び運営状況の精査を行い、適正な補助金執行に努めます。</p>	

令和 4年度杉並区事務事業評価表 (1)

(00205)

事務事業名称	障害者の就労支援事業				款	04	項	01	目	03	事業	034	整理番号	193	
現担当課名	障害者生活支援課		係名	管理係	連絡先電話番号	2274		昨年度整理番号	208						
上位施策No・施策名	16 障害者の社会参加と就労機会の充実								予算事業区分	既定事業					
事業開始	平成16年度	実行計画事業	目標	04	施策	16	計画事業	02	主要事業 (区政経営報告書掲載事業)						
令和 3年度担当課名	障害者生活支援課								事業評価区分	一般					

令和 3年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	就労を希望する障害者	根拠法令等	(1) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律 (2) 杉並区障害者職場実習実施要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	障害者施設等で働く障害者に対し、様々な取組や支援を行ない一般就労を進めていく。 障害者施設で働く障害者の自立の促進のために、工賃の向上を目指す。	活動指標	職場実習をした人数
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	就労を希望する障害者に対し、障害者雇用支援事業団と連携して実習の場を提供する。 障害者施設の工賃の向上に必要なアドバイス等が受けられるカウンセリングの実施に加え、障害者施設で構成される任意団体 (すぎなみ仕事ねっと) への補助を行う。	指標説明	すぎなみ仕事ねっと定例会への参加延べ人数
		成果指標	民間作業所、障害者雇用支援事業団、特別支援学校から就職した人数
		指標説明	区内障害者施設の平均工賃
		指標説明	区内29か所の就労継続事業所の総工賃額 ÷ 工賃を支払った人数 (令和3年度は推計値)

指標、総事業費・コスト把握 (P l a n ・ D o)

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 人	19	55	15	55	28	55	50.9	74.0
活動指標 (2)	2 人	215	330	172	330	233	330	70.6	
成果指標 (1)	3 人	135	115	96	120	75	120	62.5	
成果指標 (2)	4 円	14,887	16,078	15,483	16,154	14,971	14,971	92.7	
事業費	5 千円	1,178	1,677	878	1,597	1,182	1,434	特記事項	
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	執行率90%未達の理由 職場実習の奨励金については障害者雇用義務がある事業所へは支払いが不要である。今年度は該当の事業所での実習が多かったため、実習奨励金の残となった。 事業費前年度比35%増の理由 仕事ねっとカタログ改訂費用による増および実習生の増加による奨励金の増によるものである。	
(内) 委託費	7 千円	1	2	0	0	0	0		
職員数	8 人	2.20	1.88	1.65	1.80	2.14	3.45		
上記以外の職員	9 人	3.00	2.00	2.00	2.00	2.00	1.00		
人件費	10 千円	19,180	16,390	14,030	15,305	17,854	25,368		
上記以外の職員	11 千円	9,240	6,160	7,256	7,256	7,350	3,675		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	29,598	24,227	22,164	24,158	26,386	30,477		
単位当たりコスト ((12-6) ÷ 1)	13 円	1,557,789	440,491	1,477,600	439,236	942,357	554,127		
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	0	0	0	0	0	0	
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	29,598	24,227	22,164	24,158	26,386	30,477		
受益者負担比率 (14 ÷ 12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

令和 4年度杉並区事務事業評価表（2）

令和 3年度 事業実施状況（D o）

整理番号 193

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	職場実習の実施		28	人
	障害者施設の工賃アップ支援			958
	その他（ ）			
事業実績	<p>職場実習については、体験型17名、実践型10名、チャレンジ型1名の計28名の参加がありました。障害者施設の工賃アップ支援では、「すぎなみ仕事ねっと」の運営支援、庁内からの優先調達の推進に取り組みました。コロナ禍の影響で平均工賃は令和2年度より512円下がりました。</p>			

令和 3年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	<p>職場実習は、平成16年度より区役所での実習受け入れを開始、その後、区内企業にも体験の場を広げてきました。近年、民間の就労移行支援事業所の増加に伴い、サービス利用の中でも実習を行えるようになる中、区の事業としての本事業には、より重度の方の体験の場や特性に合わせた実習先の確保など、新たなニーズに応えることが期待されています。</p> <p>工賃アップ支援としては、区内の障害者就労支援事業所で構成される任意団体「すぎなみ仕事ねっと」の運営支援を行っています。継続して参加事業所の主体的、自主的な運営が求められています。</p>
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	<p>職場実習は、短時間労働やより重度の方の就労など、これまで以上に多様なニーズへの対応が求められると予測されます。これらのニーズに対応するため、様々な職種・職場の体験ができるよう更なる実習受け入れ先の拡大を進めていきます。</p> <p>工賃アップについては、すぎなみ仕事ねっと加盟事業所が自ら企画立案や他機関との連絡調整ができることを目指します。また、庁内各課からの優先調達を通じ更なる受注を目指し、工賃アップに努めます。</p>
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	<p>職場実習については、実習参加人数で前年度から13人増（対前年度比186%）、実習延べ日数で44日増（同150%）となり、いずれも前年度を大きく上回りました。</p> <p>すぎなみ仕事ねっと定例会は開催時間を早めることで多くの施設が参加することができました。受注、自主ともに作業や販売に関するルールを策定し、工賃アップに努めました。また、カタログ改訂を行い、イベント等での配布や区広報誌、番組等で取り上げられたことで知名度の向上につながりました。平均工賃は目標値には達成していないものの、初めて都の平均工賃額を超えました。</p>
評価と課題	<p>職場実習については、目標人数には達しませんでした。参加人数及び延べ日数それぞれで令和2年度を上回り、個々のニーズに合った職場体験の機会を提供することができました。</p> <p>工賃については、コロナ禍の影響もあり令和2年度額を512円下回ることとなりましたが、優先調達における共通単価の設定や農福連携における農園収穫物を活用してのお菓子作り・販売、農園イベントでの販売など工賃アップに向けた取組が進みました。また、仕事ねっと定例会への参加施設・人数も増加し、会の目的や方向性を共有のもと意見交換を行いました。一方で企画立案、他機関との調整については事務局に頼る場面が多く、参加事業所自らが行えるよう引き続き支援を行っています。</p>

令和 5年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
予算の方向性の理由・内容	<p>職場実習は、受入れ事業所の更なる拡充を推進するとともに、雇用支援ネットワーク会議での事業説明や実習経験者の談話などを通して、職場体験の機会が必要な方に多く利用してもらえるよう事業の周知に力を入れていきます。</p> <p>障害者施設の工賃アップは、受注・自主活動ともに、積極的な参加を促し共同受注、庁内各課からの優先調達、販路拡大を進め、都度、費用対効果を検証しつつ補助金での運営を見直します。</p>	

令和 4年度杉並区事務事業評価表 (1)

(00682)

事務事業名称	障害者スポーツ等支援				款 04	項 01	目 03	事業 041	整理番号	196
現担当課名	障害者施策課		係名	管理係	連絡先電話番号			1143	昨年度整理番号	211
上位施策No・施策名	16 障害者の社会参加と就労機会の充実						予算事業区分	既定事業		
事業開始	平成27年度	実行計画事業	目標 04	施策 16	計画事業 03	主要事業 (区政経営報告書掲載事業)				
令和 3年度担当課名	障害者施策課						事業評価区分	一般		

令和 3年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	区内の障害者及びその関係者	根拠法令等 (1) (2)	障害者基本法第1条、第6条及び第25条
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	障害者スポーツ・レクリエーション活動を支援することにより、障害者の社会参加の機会を拡大する。スポーツ・レクリエーションをとおして、障害への理解を深め、誰もが相互に人格と個性を尊重し合つ共生社会の実現を目指す。	活動指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)	障害者スポーツ・レクリエーション事業開催回数 パラリンピック体験イベント事業開催回数
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	障害者が参加しやすいスポーツ・レクリエーション事業を開催する。 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、障害者がパラスポーツに親しめる機会を増やす。	成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明	障害者スポーツ・レクリエーション参加者数 パラリンピック体験イベント参加者数

指標、総事業費・コスト把握 (P l a n ・ D o)

区分	単位	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 (1)	1 回	2	4	1	5	3	4	60.0	71.3	
活動指標 (2)	2 回	0	3	0	1	1	0	100.0		
成果指標 (1)	3 人	192	150	31	150	241	250	160.7		
成果指標 (2)	4 人	0	150	0	150	43	0	28.7		
事業費	5 千円	517	3,080	1,773	3,749	2,672	1,489	特記事項		
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	令和 3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、実施予定だったスポーツ・レクリエーション体験事業、出張教室 1 回が中止となったため、執行残となりました。 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の機運醸成の取組としてパラアスリートゲストを迎え、パラスポーツ体験イベントを実施したため、前年度に比べて事業費が増加しました。		
(内) 委託費	7 千円	192	2,710	1,496	3,438	2,533	1,238			
職員数	8 人	0.79	0.80	0.70	0.80	0.68	0.70			
上記以外の職員	9 人	0.79	0.80	0.10	0.10	0.10	0.00			
人件費	10 千円	6,887	6,974	5,952	6,802	5,673	5,840			
上記以外の職員	11 千円	2,433	2,464	363	363	368	0			
総事業費 (5+10+11)	12 千円	9,837	12,518	8,088	10,914	8,713	7,329			
単位当たりコスト ((12-6) ÷ 1)	13 円	4,918,500	3,129,500	8,088,000	2,182,800	2,904,333	1,832,250			
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0			
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0			
	都からの補助金等	16 千円	100	350	350	1,000	1,200			600
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	100	350	350	1,000	1,200	600		
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	9,737	12,168	7,738	9,914	7,513	6,729			
受益者負担比率 (14 ÷ 12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

令和 4年度杉並区事務事業評価表（2）

令和 3年度 事業実施状況（D o）

整理番号 196

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	障害者スポーツ・レクリエーション事業の実施		3	回
	パラリンピック体験イベント	1	回	2,091
	その他（啓発用事務費等）			141

事業実績

より多くの障害者がスポーツ活動等を始めるきっかけとなるよう、障害者週間のイベントである「ふれあいフェスタ」でのスポーツ・レクリエーション体験事業や、障害者通所施設での出張教室を実施しました。また東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の機運醸成の取組としてパラスリートをゲストに迎え、パラスポーツ体験イベントを開催しました。一方で、新型コロナウイルス感染症拡大により、一部の事業を中止しました。

令和 3年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	<p>平成26年に、オリンピック・パラリンピック競技大会が令和2年（2020年）に、東京で開催されることを受けて、スポーツへの関心が高まるこの機会を捉え障害者の社会参加の機会を拡大するため、平成27年度に障害者等にスポーツ・レクリエーションに関する調査を実施し、平成28年度から障害者スポーツ・レクリエーション事業を開始しました。新型コロナウイルス感染防止により延期されていた東京オリンピック・パラリンピック競技大会は、令和3年度に開催されました。</p> <p>障害者からは、普段通い慣れた場所などでスポーツ・レクリエーションをする機会を設けてほしいなどの声があります。</p>
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	<p>令和3年に東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催され、スポーツへの関心が高まっている中で、障害者にとって身近な地域でスポーツ・レクリエーションが体験できる取組を行い、より多くの障害者の社会参加を促進していく必要があります。</p>
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	<p>令和3年度は、新型コロナウイルス感染防止により、令和4年3月に予定していたスポーツレクリエーションの体験会等を中止としたため、事業開催回数について、計画を下回りました。</p>
評価と課題	<p>障害当事者と支援者等が共に参加するスポーツ・レクリエーションの機会を増やすことは、障害者の社会参加だけでなく、地域の障害理解促進にもつながります。</p> <p>令和3年度は、パラスポーツ体験事業や障害者施設への出張教室などを実施しましたが、東京2020大会を契機にスポーツへの関心が高まる中、障害者の通い慣れた場所での出張教室の実施回数を拡充するとともに、利用者の障害特性に応じた種目やeスポーツなど多様な内容を盛り込み、スポーツを通じた障害者の社会参加を促進していきます。</p>

令和 5年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
予算の方向性の理由・内容	<p>普段通っている施設など、身近な活動場所でスポーツ・レクリエーションを体験できる機会を広げていきます。また、パラスポーツだけでなく、eスポーツの実施など事業内容を工夫し、スポーツ・レクリエーションを通じ、地域の様々な場所で障害のある方もない方も一緒に楽しめるよう、取り組んでいきます。</p>	

令和 4年度杉並区事務事業評価表 (1)

(00217)

事務事業名称	障害者福祉会館の維持管理			款	04	項	01	目	06	事業	001	整理番号	207
現担当課名	障害者生活支援課		係名	管理係			連絡先電話番号	2273		昨年度整理番号	221		
上位施策No・施策名	16 障害者の社会参加と就労機会の充実							予算事業区分	既定事業				
事業開始	昭和57年度												
令和 3年度担当課名	障害者生活支援課							事業評価区分	施設維持管理				

令和 3年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	障害者福祉会館及びその利用者	根拠法令等	(1) 杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例 (2) 杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例施行規則
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	利用者が安全で快適な環境の中で、各種教室等への参加や活動を行うことができるよう施設の維持管理をする。	活動指標	施設の延べ床面積
		指標名 (1)	
		指標説明	
		指標名 (2)	保守委託契約件数
		指標説明	
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	利用者にとって快適な施設を維持するために、施設の清掃、設備の保守点検等を実施する。	成果指標	
		指標名 (1)	
		指標説明	
		指標名 (2)	
		指標説明	

指標、総事業費・コスト把握 (P l a n ・ D o)

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 m ²	1,744	1,744	1,744	1,744	1,744	1,744	100.0	93.1
活動指標 (2)	2 件	9	9	9	9	9	10	100.0	
成果指標 (1)	3								
成果指標 (2)	4								
事業費	5 千円	24,545	32,002	30,177	26,758	24,912	33,094	特記事項	
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	令和2年度は、福祉会館1階の誰でもトイレの改修工事を行ったため、令和3年度のとの事業費との差が10%を超えて減額となりました。	
(内) 委託費	7 千円	18,419	23,615	23,385	20,026	19,310	25,178		
職員数	8 人	0.31	0.31	0.28	0.30	0.32	0.32		
上記以外の職員	9 人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10		
人件費	10 千円	2,703	2,703	2,381	2,551	2,670	2,670		
上記以外の職員	11 千円	308	308	363	363	368	368		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	27,556	35,013	32,921	29,672	27,950	36,132		
単位当たりコスト ((12-6)÷1)	13 円	15,800	20,076	18,877	17,014	16,026	20,718		
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	2,381	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	0	0	2,381	0	0		
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	27,556	35,013	30,540	29,672	27,950	36,132		
受益者負担比率 (14÷12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

令和 4年度杉並区事務事業評価表（2）

令和 3年度 事業実施状況（D o）

整理番号 207

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	施設保守管理委託	1	所	18,827
	光熱水費の支出	1	所	5,462
	維持管理等（自動水栓化含む）	1	所	140
	その他（通信運搬費）			483
事業実績	障害者福祉会館は、併設されている1階の障害者雇用支援事業団、3階の杉並区障害者地域相談支援センター（すまいる高井戸）と連携して、建物の保守管理や定期清掃等の維持管理を担っています。			

令和 3年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	
評価と課題	運営委託先の障害者福祉会館運営協議会と密に連携を図り、施設の保守等に取り組んでいます。しかし、施設の老朽化で毎年修繕をする箇所が多くあります。来館者が安全に利用できる施設になるように、今後も計画的に修繕や設備の交換を実施していきます。

令和 5年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容		

令和 4年度杉並区事務事業評価表 (1)

(00683)

事務事業名称	視覚障害者会館の維持管理			款	04	項	01	目	06	事業	002	整理番号	208
現担当課名	障害者生活支援課		係名	管理係			連絡先電話番号	2273		昨年度整理番号	222		
上位施策No・施策名	16 障害者の社会参加と就労機会の充実							予算事業区分	既定事業				
事業開始	令和27年度												
令和 3年度担当課名	障害者生活支援課							事業評価区分	施設維持管理				

令和 3年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	視覚障害者会館及びその利用者	根拠法令等	(1) 杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例 (2) 杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例施行規則
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	利用者が安全で快適な環境の中で活動できるよう施設を維持管理する。	活動指標	施設延床面積
		指標名 (1)	
		指標説明	
		指標名 (2)	保守委託契約件数
		指標説明	
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	利用者にとって快適な施設を維持するために、施設の清掃、設備の保守点検等を実施する。	成果指標	
		指標名 (1)	
		指標説明	
		指標名 (2)	
		指標説明	

指標、総事業費・コスト把握 (P l a n ・ D o)

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1	m ²	167	167	167	167	167	100.0	90.7
活動指標 (2)	2	件	4	4	4	4	4	100.0	
成果指標 (1)	3								
成果指標 (2)	4								
事業費	5	千円	1,679	2,030	1,868	1,947	1,765	1,917	特記事項
(内) 投資的経費等	6	千円							
(内) 委託費	7	千円	960	1,037	978	1,128	1,006	1,132	
職員数	8	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.11	0.11	
	9	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	
人件費	10	千円	872	872	850	850	918	918	
	11	千円	308	308	363	363	368	368	
総事業費 (5+10+11)	12	千円	2,859	3,210	3,081	3,160	3,051	3,203	
単位当たりコスト ((12-6)÷1)	13	円	17,120	19,222	18,449	18,922	18,269	19,180	
財源	14	千円							
	15	千円	256	598	265				
	16	千円	128	299	132				
	17	千円							
	18	千円	384	897	397				
	19	千円	2,475	2,313	2,684	3,160	3,051	3,203	
受益者負担比率 ((14÷12)	20	%							

令和 4年度杉並区事務事業評価表 (2)

令和 3年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 208

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	施設保守管理委託			834
	光熱水費の支出			758
	維持管理等			173
	その他 ()			
事業実績	視覚障害者会館の維持管理は、業務を委託しているNPO法人杉並区視覚障害者福祉協会と連携し、施設の安全と快適性の確保に努めています。			

令和 3年度 評価と課題 (C h e c k)

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 (期待・要望・苦情など)	
事業の今後 (3~5年) の予測と方向性	
計画 (目標値) に対する実績 (指標の分析等)	
評価と課題	利用者の安全で快適な環境を確保するため、NPO法人杉並区視覚障害者福祉協会と連携をして、視覚障害者の立場に立った施設の保守管理に努めています。 施設の老朽化に伴う設備の不具合等も増えてきており、計画的な改修や設備の交換等を行っています。

令和 5年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容		

令和 4年度杉並区事務事業評価表 (1)

(00218)

事務事業名称	障害者交流館維持管理			款	04	項	01	目	06	事業	003	整理番号	209
現担当課名	障害者生活支援課		係名	管理係			連絡先電話番号	2273		昨年度整理番号	223		
上位施策No・施策名	16 障害者の社会参加と就労機会の充実							予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成 7年度												
令和 3年度担当課名	障害者生活支援課							事業評価区分	施設維持管理				

令和 3年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	和田障害者交流館及び高円寺障害者交流館の利用者	根拠法令等 (1) (2)	杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例 杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例施行規則
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	利用者が安全で快適な環境の中で活動できるよう施設を維持管理する。	活動指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)	施設延床面積 (2施設合計) 保守委託契約件数
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	利用者にとって快適な施設を維持するために、機械設備の保守点検等を実施する。	指標説明 成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明	

指標、総事業費・コスト把握 (P l a n ・ D o)

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1	m ²	693	693	693	693	693	100.0	90.9
活動指標 (2)	2	件	1	1	1	1	1	100.0	
成果指標 (1)	3								
成果指標 (2)	4								
事業費	5	千円	5,391	6,469	5,706	6,949	6,318	7,987	特記事項
(内) 投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	
(内) 委託費	7	千円	3,543	3,651	3,538	4,697	4,363	4,501	
職員数	常勤職員数 (再任用含)	8	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.11	0.11
	上記以外の職員	9	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
人件費	常勤職員分 (再任用含)	10	千円	872	872	850	850	918	918
	上記以外の職員	11	千円	308	308	363	363	368	368
総事業費 (5+10+11)	12	千円	6,571	7,649	6,919	8,162	7,604	9,273	
単位当たりコスト ((12-6)÷1)	13	円	9,482	11,038	9,984	11,778	10,973	13,381	
財源	受益者負担分	14	千円	575	550	172	550	231	550
	国からの補助金等	15	千円	0	0	375	0	0	0
	都からの補助金等	16	千円	0	0	0	0	0	0
	その他の補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0
	特定財源計 (14+15+16+17)	18	千円	575	550	547	550	231	550
差引：一般財源 (12-18)	19	千円	5,996	7,099	6,372	7,612	7,373	8,723	
受益者負担比率 ((14)÷12)	20	%	8.8	7.2	2.5	6.7	3.0	5.9	

令和 4年度杉並区事務事業評価表（2）

令和 3年度 事業実施状況（Do）

整理番号 209

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	施設保守管理委託	2	所	4,307
	光熱水費の支出	2	所	1,849
	維持管理等	2	所	162
	その他（ ）			
事業実績	<p>障害者交流館の維持管理については、業務委託をしている杉並区障害者団体連合会と連携して行っています。障害者交流館には、福祉事務所や区民集会所等、併設している施設があることから、施設全体で利用者の安全安心と快適性の確保に努めています。</p>			

令和 3年度 評価と課題（Check）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	
評価と課題	<p>利用者の安全で快適な環境を確保するため、業務委託している杉並区障害者団体連合会と連携をして、施設の保守管理に努めています。</p> <p>財源の一部である高円寺障害者交流館の目的外使用料については、令和2年度から続く新型コロナウイルス感染症の影響により、施設を利用する回数や利用者が減少していることから、目的外使用料が減少しています。</p> <p>今後も主な施設利用者である障害者の視点から、施設の安全安心な環境づくりに努めていきます。</p>

令和 5年度の方針（Action）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容		

令和 4年度杉並区事務事業評価表 (1)

(00219)

事務事業名称	障害者施設運営	款	04	項	01	目	06	事業	004	整理番号	210
現担当課名	障害者生活支援課	係名	管理係			連絡先電話番号	2273		昨年度整理番号	224	
上位施策No・施策名	16 障害者の社会参加と就労機会の充実					予算事業区分	既定事業				
事業開始											
令和 3年度担当課名	障害者生活支援課					事業評価区分	その他簡易な評価				

令和 3年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	区が有する障害者福祉施設等 (生活圏を除く)	根拠法令等	(1) 契約事務規則 (2) 会計事務規則
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	効率的かつ効果的な事務事業の執行による障害者福祉施設の側面支援、障害者福祉行政の充実を図る。	活動指標	障害者生活支援課本庁職員
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	施設運営に必要な事務用品、書籍、印刷用品を購入する。 各園の事業運営や維持管理に含めることが難しい運営に必要な諸事務経費 (区有施設である「あけぼの作業所」の樹木剪定、区立障害者施設職員の腸内細菌検査、研究会負担金等) の支援を行う。	指標名 (1)	需用費 (一般需用費) 合計
		指標名 (2)	
		指標説明	
		成果指標	
		指標名 (1)	
		指標説明	
		指標名 (2)	
		指標説明	

指標、総事業費・コスト把握 (P l a n ・ D o)

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 人	11	10	10	10	10	11	100.0	88.0
活動指標 (2)	2 円	1,501	2,528	2,517	1,062	951	1,534	89.5	
成果指標 (1)	3								
成果指標 (2)	4								
事業費	5 千円	5,965	7,505	7,140	6,269	5,515	7,989	特記事項	
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	予算執行率が90%未満となった理由 区立障害者通所施設の衛生検査に係る単価が当初想定よりも低かったため、委託料が減少しました。 事業費が前年度よりも10%以上減となった理由 令和3年度においては、施設における修繕が前年度よりも少なかったことから、修繕費が減少しました。	
(内) 委託費	7 千円	1,804	2,130	2,064	2,360	1,972	3,476		
職員数	8 人	0.31	0.31	0.27	0.41	0.31	0.11		
上記以外の職員	9 人	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.20		
人件費	10 千円	2,703	2,281	1,900	3,091	2,248	918		
上記以外の職員	11 千円	1,540	1,540	1,814	1,814	1,838	735		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	10,208	11,326	10,854	11,174	9,601	9,642		
単位当たりコスト ((12-6)÷1)	13 円	928,000	1,132,600	1,085,400	1,117,400	960,100	876,545		
財源	14 千円	0	0	0	0	0	0		
国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0	0		
都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0	0		
その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	0	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	10,208	11,326	10,854	11,174	9,601	9,642		
受益者負担比率 (14÷12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

令和 4年度杉並区事務事業評価表（2）

令和 3年度 事業実施状況（D o）

整理番号 210

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	樹木委託管理等			
	光熱水費（あすなる作業所）の支出			2,500
	一般購入・施設修繕等			951
	腸内細菌検査委託			155
	その他（研究会負担金、報償費、事務費ほか）			127
事業実績	各施設運営に必要な事務用品、書籍、印刷用品の一括購入のほか、各生活園の事業運営において維持管理に含めることが難しい運営に必要な諸事務を行っています。区有施設「あけぼの作業所」の樹木剪定や区立障害者施設職員の腸内細菌検査を業務委託により実施しています。			

令和 3年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	
評価と課題	区有施設はいずれも建物の老朽化が進んでおり、小規模修繕に加え設備の改修が増えています。計画的に修繕等を行い、施設の安全維持向上を図ります。また、不要不急な経費や必要性の薄れた経費の支出について、常に見直しを行い適正な経費の支出に努めます。

令和 5年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容		

令和 4年度杉並区事務事業評価表 (1)

(00220)

事務事業名称	すぎのき生活園の維持管理	款	04	項	01	目	06	事業	005	整理番号	211
現担当課名	障害者生活支援課	係名	すぎのき生活園			連絡先電話番号	3399-8953		昨年度整理番号	225	
上位施策No・施策名	16 障害者の社会参加と就労機会の充実					予算事業区分	既定事業				
事業開始	昭和55年度										
令和 3年度担当課名	障害者生活支援課					事業評価区分	施設維持管理				

令和 3年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	すぎのき生活園の利用者	根拠法令等	(1) (2)	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律 杉並区立すぎのき生活園条例
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	利用者が安全で快適に過ごせるよう施設の維持管理を行う。	活動指標	指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)	延べ床面積 保守委託契約件数
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	利用者が安全で快適に過ごせるようにするため、施設の清掃や諸設備の保守点検、修繕などを実施する。	指標説明	成果指標	
			指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明	

指標、総事業費・コスト把握 (P l a n ・ D o)

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1	m ²	2,432	2,432	2,432	2,432	2,432	100.0	96.2
活動指標 (2)	2	件	12	12	12	12	12	100.0	
成果指標 (1)	3								
成果指標 (2)	4								
事業費	5	千円	24,474	26,889	25,704	27,841	26,788	28,796	特記事項
(内) 投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	
(内) 委託費	7	千円	15,011	15,910	15,612	16,311	16,096	16,145	
職員数	常勤職員数 (再任用含)	8	人	1.81	1.81	2.01	2.00	1.81	0.42
	上記以外の職員	9	人	2.30	2.30	2.30	2.30	2.30	2.00
人件費	常勤職員分 (再任用含)	10	千円	15,780	15,358	16,588	16,647	14,763	3,166
	上記以外の職員	11	千円	7,084	7,084	8,344	8,344	8,453	7,350
総事業費 (5+10+11)	12	千円	47,338	49,331	50,636	52,832	50,004	39,312	
単位当たりコスト ((12-6)÷1)	13	円	19,465	20,284	20,821	21,724	20,561	16,164	
財源	受益者負担分	14	千円	0	0	0	0	0	0
	国からの補助金等	15	千円	0	0	0	0	0	0
	都からの補助金等	16	千円	0	0	0	0	0	0
	その他の補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0
	特定財源計 (14+15+16+17)	18	千円	0	0	0	0	0	0
差引：一般財源 (12-18)	19	千円	47,338	49,331	50,636	52,832	50,004	39,312	
受益者負担比率 (14÷12)	20	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

令和 4年度杉並区事務事業評価表 (2)

令和 3年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 211

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	施設保守管理委託			
	光熱水費の支出			8,901
	維持管理等			3,190
	その他 ()			
事業実績	<p>すぎのき棟築42年、けやき棟築29年が経過し、施設の設備や機器に不具合が生じており、すぎのき棟では、冷却水保温ヒーター交換、非常用発電機蓄電池交換、受水槽バルブ交換、活動室ドア交換、LED化、空調機器全面交換と手すりの全面取り換え、けやき棟では厨房水栓不良修理、トイレ便座交換、厨房厨房温水器交換、LED化など修理を段階的に行ってきました。最近では2年度にすぎのき棟の外壁補修工事、けやき棟の非常扉交換工事を実施しました。</p>			

令和 3年度 評価と課題 (C h e c k)

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 (期待・要望・苦情など)	
事業の今後 (3~5年) の予測と方向性	
計画 (目標値) に対する実績 (指標の分析等)	
評価と課題	<p>利用者の37%が知的障害と身体障害の重複障害者ですが、施設の仕様が身体障害者の利用に対応していない現状があります。また、歩行困難な利用者と動きの激しい利用者が同じスペースで活動することは、接触事故等の危険があること、利用者への活動制限にもつながることから、障害の状況に応じたスペースの確保や適切な設備の設置に努めています。</p> <p>各棟の建物は経年劣化が激しく毎年設備交換を行っているものの、水道配管の不具合をはじめ大規模な改修が必要となっています。しかし、利用者の障害特性から運営しながらの改修や運営の一時休止は困難なことから、改修方法等について関係課と協議をしています。</p>

令和 5年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>施設の老朽化に伴い修理・修繕を要する箇所が増え続けています。元年度にはけやき棟のエレベーター全体交換の必要性が業者より指摘がありました。また、次年度はすぎのき棟トイレの大規模改修工事を営繕課とも協議しながら計画的に進めていくことになりました。その他、園の維持管理予算で対応していくメンテナンスや修繕についても予算を拡充し、今後も計画的に施設の安全管理に努めます。</p>	

令和 4年度杉並区事務事業評価表 (1)

(00221)

事務事業名称	こすもす生活園の維持管理			款	04	項	01	目	06	事業	006	整理番号	212
現担当課名	障害者生活支援課		係名	こすもす生活園			連絡先電話番号	3317-9312		昨年度整理番号	226		
上位施策No・施策名	16 障害者の社会参加と就労機会の充実							予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成 5年度												
令和 3年度担当課名	障害者生活支援課							事業評価区分	施設維持管理				

令和 3年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	こすもす生活園の利用者	根拠法令等	(1) (2)	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律 杉並区立身体障害者通所施設条例、同施行規則
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	利用者が安全で快適に過ごせるよう施設の維持管理を行う。	活動指標	指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)	施設の延床面積 保守委託契約件数
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	利用者が安全で快適に過ごせるようにするため、施設の清掃や諸設備の保守点検、修繕などを実施する。	指標説明	成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明	

指標、総事業費・コスト把握 (P l a n ・ D o)

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 (1)	1 m ²	794	794	794	794	794	794	100.0	94.1	
活動指標 (2)	2 件	8	8	8	8	8	8	100.0		
成果指標 (1)	3									
成果指標 (2)	4									
事業費	5 千円	7,706	8,910	8,630	9,122	8,582	9,449	特記事項		
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0			
(内) 委託費	7 千円	4,343	4,528	4,413	5,046	4,897	4,676			
職員数	常勤職員数 (再任用含)	8 人	1.83	1.81	1.86	1.70	1.89	1.67		
	上記以外の職員	9 人	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	10 千円	11,650	15,358	15,420	14,096	15,430	13,595		
	上記以外の職員	11 千円	924	924	1,088	1,088	1,103	1,103		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	20,280	25,192	25,138	24,306	25,115	24,147			
単位当たりコスト ((12-6)÷1)	13 円	25,542	31,728	31,660	30,612	31,631	30,412			
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	0	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	20,280	25,192	25,138	24,306	25,115	24,147			
受益者負担比率 (14÷12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

令和 4年度杉並区事務事業評価表 (2)

令和 3年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 212

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	施設保守管理委託			4,126
	光熱水費の支出			2,739
	維持管理等			1,717
	その他 ()			
事業実績	<p>開設から30年近く経過した施設であり、設備機器の老朽化が顕著となっています。適宜、機器の修繕や交換を行い、施設の安全管理に努めています。令和3年度は非常照明のバッテリー交換、浴槽のシャワーハンドルやトイレの水漏れの修繕、流しのレバー交換、職員用の椅子の購入などを行ないました。</p>			

令和 3年度 評価と課題 (C h e c k)

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 (期待・要望・苦情など)	
事業の今後 (3~5年) の予測と方向性	
計画 (目標値) に対する実績 (指標の分析等)	
評価と課題	<p>平成5年の開設から28年経過し、設備面の老朽化が目立っています。小規模修繕は、速やかに対応していますが、大規模修繕は関係課と協議しながら計画的に行っています。令和4年度は1階の玄関、廊下、第2活動室の床の張替えが予定されています。</p> <p>また、障害の重度化により利用者の車椅子が大型化していますが、施設設備が対応していないことから活動範囲が限られています。東側の駐輪場前のスペースは、地面の一部が陥没しておりマンホール等との段差が目立ち、通行人が転倒しやすくなっています。</p> <p>施設の大幅な改修は困難ですが、利用者状況に配慮した環境の整備に努めていきます。</p>

令和 5年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>平成5年の開設から、30年近く経過し設備面の老朽化が目立っています。大規模修繕については関係課と協議しながら進めていきます。</p> <p>利用者の障害の重度化により車椅子の大型化が進む状況があります。スペースを確保しながら安全で気持ちよく過ごせる環境が確保できるよう、施設設備等の不具合に対して早期に修繕や交換などの対応に努めていきます。</p>	

令和 4年度杉並区事務事業評価表 (1)

(00222)

事務事業名称	なのはな生活園の維持管理			款	04	項	01	目	06	事業	007	整理番号	213
現担当課名	障害者生活支援課		係名	なのはな生活園			連絡先電話番号	3335-0415		昨年度整理番号	227		
上位施策No・施策名	16 障害者の社会参加と就労機会の充実							予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成 9年度												
令和 3年度担当課名	障害者生活支援課							事業評価区分	施設維持管理				

令和 3年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	なのはな生活園の利用者		根拠法令等	(1)	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律	
				(2)	杉並区立身体障害者通所施設条例、同施行規則	
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	利用者が安全で快適に過ごせるよう施設の維持管理を行う。		活動指標	施設延べ床面積		
			指標名 (1)			
			指標説明			
			指標名 (2)	保守委託契約件数		
			指標説明			
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	利用者が安全で快適に過ごせるようにするため、施設の清掃や諸設備の保守点検、修繕などを実施する。		成果指標			
			指標名 (1)			
			指標説明			
			指標名 (2)			
			指標説明			

指標、総事業費・コスト把握 (P l a n ・ D o)

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 (1)	1	m ²	1,019	1,019	1,019	1,019	1,019	100.0	94.0	
活動指標 (2)	2	件	10	10	10	10	10	100.0		
成果指標 (1)	3									
成果指標 (2)	4									
事業費	5	千円	12,101	13,125	11,701	13,448	12,638	13,587	特記事項	
(内) 投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0		
(内) 委託費	7	千円	5,720	6,674	5,817	6,826	6,234	6,774		
職員数	常勤職員数 (再任用含)	8	人	1.81	1.81	1.86	1.70	1.88	1.92	
	上記以外の職員	9	人	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	10	千円	15,780	15,358	15,420	14,096	15,347	15,680	
	上記以外の職員	11	千円	924	924	1,088	1,088	1,103	1,103	
総事業費 (5+10+11)	12	千円	28,805	29,407	28,209	28,632	29,088	30,370		
単位当たりコスト ((12-6)÷1)	13	円	28,268	28,859	27,683	28,098	28,546	29,804		
財源	受益者負担分	14	千円	3	5	3	5	3	5	
	国からの補助金等	15	千円	0	0	0	0	0	0	
	都からの補助金等	16	千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (14+15+16+17)	18	千円	3	5	3	5	3	5	
差引: 一般財源 (12-18)	19	千円	28,802	29,402	28,206	28,627	29,085	30,365		
受益者負担比率 (14÷12)	20	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

令和 4年度杉並区事務事業評価表（2）

令和 3年度 事業実施状況（D o）

整理番号 213

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	施設保守管理委託			5,449
	光熱水費の支出			5,037
	維持管理経費等			2,152
	その他（ ）			
事業実績	設置後22年が経過し給排水設備の老朽化による修理を4回、照明機器の修理を3回行いました。 その他、施設整備及び備品等の不具合には、修繕や買替等により早期対応しています。			

令和 3年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	
評価と課題	開設から22年が経ち、施設や設備の老朽化が見られます。利用者が安全で快適に過ごせるように、日頃の管理や定期的な点検及び修繕を随時行っています。 今後も障害が重い利用者の増加が予想されます。安全で安定したサービスを提供するため買替の時期に合わせて新たな介護機器の導入も含め施設環境の整備に努めます。

令和 5年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	対象の見直し
予算の方向性の理由・内容	次年度は特別支援学校の新規卒業生にこれまで受入れを行ったことのない人工呼吸器を装着している方がいるため、受入れに当たり非常時用の機器の整備が必要となります。 また、平成11年開設以来22年経過し設備面の老朽化が目立っています。施設設備等の不具合に対して早期に修繕や交換などの対応に努めていきます。	

令和 4年度杉並区事務事業評価表 (1)

(00231)

事務事業名称	障害者入所・通所施設の整備				款	04	項	01	目	07	事業	004	整理番号	223	
現担当課名	障害者生活支援課		係名	管理係		連絡先電話番号	2277		昨年度整理番号	237					
上位施策No・施策名	16 障害者の社会参加と就労機会の充実								予算事業区分	既定事業					
事業開始	平成11年度	実行計画事業	目標	04	施策	16	計画事業	01							
令和 3年度担当課名	障害者生活支援課								事業評価区分	一般					

令和 3年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	障害者通所施設を整備する社会福祉法人	根拠法令等	(1) 社会福祉法第6条 (2) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第5条第7項
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	重度障害者の日中活動の場を確保するため、生活介護事業等を行う通所施設の整備を進め、障害者の豊かな地域生活を実現する。	活動指標	区内重度障害者通所施設の数
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	区有地等を活用し、社会福祉法人が整備する障害者通所施設に対し、整備費を助成することにより、重度障害者の日中活動の場を確保する。 令和3年度未現在、区内では重度障害者の通所施設10施設 (知的5、身体5・うち7施設は民間施設) を運営している。	指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明	区内重度障害者通所施設の数
		成果指標	区内重度障害者通所施設の受入者数
		指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明	

指標、総事業費・コスト把握 (P l a n ・ D o)

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 (1)	1 所	10	10	10	10	10	10	100.0	99.8	
活動指標 (2)	2									
成果指標 (1)	3 人	221	243	241	241	241	241	100.0		
成果指標 (2)	4									
事業費	5 千円	91,115	40,434	40,117	40,126	40,031	39,262	特記事項		
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0			
(内) 委託費	7 千円	0	110	0	110	66	0			
職員数	常勤職員数 (再任用含)	8 人	1.02	0.42	0.70	0.60	0.00	0.46		
	上記以外の職員	9 人	0.00	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	10 千円	6,361	3,662	5,952	5,102	0	2,282		
	上記以外の職員	11 千円	0	1,848	2,177	2,177	2,205	2,205		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	97,476	45,944	48,246	47,405	42,236	43,749			
単位当たりコスト ((12-6)÷1)	13 円	9,747,600	4,594,400	4,824,600	4,740,500	4,223,600	4,374,900			
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	0	0	0	0	0	0		
差引: 一般財源 (12-18)	19 千円	97,476	45,944	48,246	47,405	42,236	43,749			
受益者負担比率 (14÷12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

令和 4年度杉並区事務事業評価表（2）

令和 3年度 事業実施状況（D o）

整理番号 223

	内 容	規模	単位	事業費（千円）
主な取組	すだちの里杉並・運営法人への償還金助成	1	所	17,907
	マイルドハート高円寺・運営法人への償還金助成	1	所	21,781
	その他（障害者施設建設（久我山一丁目都有地）事業者選定等）			343
事業実績	<p>重度障害者支援施設を整備・運営している社会福祉法人に対し、借入償還金の一部助成を行いました。令和3年度は、新たに久我山一丁目都有地を活用した重度知的障害者通所施設と障害者グループホームの併設施設建設を進めるため、事業者選定を行い、地域説明会を実施しました。</p>			

令和 3年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	<p>重い障害があっても、障害者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう重度障害者の入所・通所施設の整備を行っています。施設整備に当たっては、運営法人等の負担軽減のため、整備費等の助成を行っています。これまでに入所・通所施設5所を整備しています。</p> <p>特別支援学校の在校生の父母からは、卒業後の日中活動の場として、通所施設の整備に対する要望が寄せられています。</p>
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	<p>令和3年度に事業者選定を行った久我山一丁目都有地の新規施設は、令和7年度の開設を目途に作業を進めます。重度知的障害者通所施設は40名の定員を予定しており、重度知的障害者通所施設の定員充足と同時に、施設偏在の解消も前進します。</p> <p>今後は拡充の要望が多い医療的ケアの対応拡充を視野に入れ、重度身体障害者通所施設の定員確保を行うために、新たな施設建設を目指すことが課題となります。</p>
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	<p>区内重度障害者通所施設の受入者数は、令和2年度に「しもたか希望の家ibuki」の生活介護事業開始により、20名増となりました。令和7年度には、久我山一丁目都有地施設により40名の増が予定されています。特別支援学校の卒業生の状況等から、今後は重度身体障害者通所施設の受け入れ者数を増やすことを目標に、施設用地の確保を進めていきます。</p>
評価と課題	<p>需要予測に対する通所施設不足に対応するため、久我山一丁目都有地を活用した重度知的障害者通所施設と障害者グループホームの併設施設について、再度、運営事業者公募・決定をし、住民説明会を実施しました。今後は、事業者と東京都と連携し、確実に整備を進めます。</p> <p>また、需要予測で継続的に定員確保が必要となっている重度身体障害者通所施設の整備にあたり、まず用地の確保として区有地等の活用を関係部署と調整するとともに、国・都の補助金の活用に加えて区独自の運営費加算などの助成も検討し、引き続き整備・運営する法人を支援することで、施設整備を推進します。</p>

令和 5年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
予算の方向性の理由・内容	<p>久我山一丁目都有地を活用した重度知的障害者通所施設については、選定された事業者及び東京都と連携し、令和7年度開設を目指して作業を進めます。同時に、施設の整備には、区から整備費用の一部助成や運営費の区独自加算を計画し、法人が遅滞なく整備・運営を行えるよう支援を行います。</p> <p>重度身体障害者通所施設については、施設建設に不可欠な用地確保を第一に、区有地を中心に情報収集と関係部署との調整を行います。これと並行して、民間施設との連携で、医療的ケアの要望対応や定員不足への対応を検討します。</p>	